

# 医師住宅建設工事(建築)

建築意匠		建築構造	
図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
A-01	特記仕様書 1	S-01	構造設計標準仕様書
A-02	特記仕様書 2	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-03	特記仕様書 3	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-04	特記仕様書 4	S-04	鉄骨構造標準図
A-05	特記仕様書 5	S-05	F.T.Pile構法(既製コンクリート杭)標準図
A-06	特記仕様書 6	S-06	RC梁貫通孔補強筋設計施工仕様書
A-07	特記仕様書 7	S-07	露出型弾性固定柱脚工法設計施工標準図
A-08	敷地求積図 現況測量図	S-08	合成床版設計施工標準図
A-09	床面積図	S-09	型枠用デッキプレート設計施工標準図
A-10	仕上表	S-10	鉄骨梁貫通孔補強工法標準図
A-11	配置図 付近見取図	S-11	地質調査図
A-12	平面図	S-12	伏図(1)
A-13	立面図・断面図	S-13	伏図(2)
A-14	矩計図	S-14	軸組図(1)
A-15	階段詳細図	S-15	軸組図(2)
A-16	住戸平面詳細図	S-16	RC部材リスト
A-17	住戸展開図	S-17	鉄骨部材リスト、雑詳細図
A-18	天井伏せ・床伏せ図	S-18	鉄骨架構詳細図
A-19	建具符号図 建具リスト		
A-20	家具符号図 家具リスト		
A-21	エントランス 1317		
A-22	エントランス 1216		
A-23	部分詳細図 1		
A-24	部分詳細図 2		
A-25	外構配置図 外構詳細図		
A-26	防災計画図 平均地盤算定図		

令和3年7月 (2021年)



株式会社 浦建築研究所

# 建築工事仕様書

## I 工事概要

1 工事場所 羽咋市町地内 地内

2 工事内容 (1) 本体工事 (種別、棟別、構造、階、面積)  
S造 3階建て

(2) 屋外付帯工事  
駐車場舗装 他

(3) 電気設備工事

(4) 給排水衛生設備工事

(5) 解体工事

3 完成期日 令和 年 月 日 (概成工期 令和 年 月 日)

4 別契約関連工事  
・屋外付帯工事 ・舗装工事  
・電気設備工事 ・給排水衛生設備工事  
・暖房設備工事 ・冷房設備工事  
・換気設備工事 ・空調設備工事  
・昇降機設備工事 ・電話設備工事  
・浄化槽設備工事

## II 建築工事仕様

1 共通仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標仕」という。)による。

2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は( / )図、機械設備工事は( / )図による。

2 特記仕様

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。

4) 特記事項に記載の(別図 . . . )は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。

5) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標仕」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。

7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。

8) 斜線で消去した章は適用しない。

1 章 一 般 共 通 事 項	
項 目	特 記 事 項

1 適用基準等

設計図書その他、下記の図書の該当事項を適用する。  
・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版)  
○建築構造設計基準の資料(国土交通省大臣官房官庁営繕部 平成30年通知)のうち第3章  
○営繕工事写真撮影要領(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)  
○営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和元年度版)  
・建築解体工事共通仕様書(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)  
・公共建築木造工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版)  
・屋根瓦工事共通仕様書(石川県土木部営繕課監修 平成29年版)  
○鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修)  
○壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修)  
○鉄骨構造標準図(石川県土木部営繕課監修)  
○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準(施設整備の手引き)  
・石川県公共事業景観形成ガイドライン

2 工事実績情報の登録

※登録する(但し工事請負代金額500万円以上の工事。)(1. 1. 4)

3 発生材の処理

1) 産業廃棄物は「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づき許可を得た処分場で処分する。  
また、処分に際しては産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。

2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所以のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。(1. 3. 11)  
イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・引渡を要するもの ・引渡し場所  
ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 ・有 ・無  
ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照

3) 発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、下記による。  
・現場で再利用を図るもの  
・再資源化を図るもの

4) 建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法第18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無  
・有 ○無

4 電気保安技術者 ※適用する (1. 3. 3)

5 施工条件 (1. 4. 1) (1. 4. 2) (1. 4. 4)

6 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。  
①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿(最新年版)」(社)公共建築協会)によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。  
②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ)からへ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けたものとする。

イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
ハ) 安定的な供給が可能であること。  
ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。  
ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。  
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

2) 請負契約約款第6条の第2項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。

3) 請負契約約款第13条第2項に定める監督員等の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。  
※杭 ・型枠類 ・防水材料 ・石材 ・木材  
但し、杭以外のJIS規格品は除く。

4) 請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調査等を使用すべき工事材料は次のものとする。  
※高強度コンクリート 試し練り ・地盤改良材の調査 ・土壁仕上げ材調査

5) 請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。  
・金属製品 ・合成樹脂製品 ・木製建具 ・塗装 ・土壁仕上げ材  
・家具及び家具の金物 ・畳 ・内外装材料 ・屋根材料  
なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。

6) 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。(「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則の一部を改正する省令の施行等について」(厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月)参照)。安全データシート(SDS)等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。  
「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

7 特別な材料の工法

8 技能士等

適用する技能士等及び技能士の適用工事種別及び作業の種別は次の通りとする。  
※技能士 (1. 5. 2)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	○とび作業
鉄筋工事	○鉄筋組立て作業
コンクリート工事	○型枠作業 ○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○構造物鉄工作业 ○とび作業
ブロック・ALCパネル工事 押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・改質アスファルトシートシート工法防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業
石工事	・石材加工作業 ・石張り作業 ・石積み作業
タイル工事	○タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びびとい工事	○内外装板金作業 ・かわらぶき作業
金属工事	○鋼製地下工事作業 ○内外装板金作業
左官工事	○左官作業
建具工事	○ビル用サッシ施工作業 ○自動ドア施工作業 ○ガラス工事作業
カーテンウォール工事	○ガラス工事作業
塗装工事	○建築塗装作業
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁紙作業
排水工事	○建築配管作業
植栽工事	・造園工事作業

9 完成図等

10 工事写真等の記録

「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。

1) 完成図 ※作成する (1. 7. 1~1. 7. 3)(表1. 7. 1)  
イ) 工事完成図は、製本1部、A3版製本2部提出する。  
ロ) CD-R又はDVD-Rに、CADで設計したものはCADデータ、手描きの場合はラスタデータとして記録し1部提出する。  
また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。  
※ラスタデータ：画像データでTIF形式、原図大で300dpi密度以上とする。  
・作成しない

2) 屋外付帯工事実測図 ※提出する(1部) ・提出しない

3) 保全に関する資料 ※提出する(1部) ・提出しない

保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」(一財)建築安全センター)に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。  
別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。

1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(平成31年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。  
各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。

※写真真帳

区 分	分 類	規 格	撮 影 枚 数	部 数
着 工 前	※カラー	※サービズ版	※6景以上	※1部
工 事 中	※カラー	※サービズ版	※「営繕工事写真撮影要領」による	※1部
完 成 時	※カラー	※キャビネ版 ・サービズ版	※10景以上	※1部

○アルバム

区 分	分 類	規 格	撮 影 枚 数	部 数
完 成 時	※カラー	※キャビネ版	※10景以上	※2部

・写真パネル

区 分	分 類	規 格	仕 様	部 数
完 成 時	※カラー	※全紙サイズ	※木製枠7ヶ付	※2部

2) 完成写真の撮影 ・専門業者の撮影(撮影者を明記) ・専門業者以外の撮影

3) 原版の使用権を次の者に移譲する。 ※発注者 ・設計者  
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。  
撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。

4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

11 責任施工  
12 工事報告書

13 設備工事との取  
14 設計GL  
15 建築基準法に基づき指定する条件  
16 工事現場の掲示  
17 総合評価時における技術提案  
18 施工の検査等  
19 施工の立会い等  
20 中間検査  
21 公共事業労務費調査等に対する協力

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下負請人の連帯責任とし、保証書を提出する。工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所及び工事現場写真等を記載した工事報告書を毎月末毎に提出する。

1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。  
2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数は下記による。  
位置、大きさ、箇所数等

位置/大きさ	100mm	125mm	150mm	175mm	200mm
RC梁	18		15		
RC床	61		16		
S梁	3		3		1

3) 鉄骨部のスリーブ及び補強筋は本工事に含むものとする。

4) 軽鉄地下で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。  
イ) 天井部分 箇所 〇) 壁部分 箇所

設備関連工事との取合い取合いは下記による。

他 工 事 と の 取 合 い	建築工事	電気工事	機械工事	備 考
機器の基礎、防油漏、換気扇取付用枠			○	
梁、床、壁貫通部の補強	○			
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠		○		
外気取付ガラリ、床下水槽マンホール蓋				ガラリは立面図に図示
ステンレス溝し台等				排水トラップ共
排気フード、レンジフードファン				建築図に図示
取り付け枠(鋼製)とも	○			ダクト接続は設備工事
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫	○			
下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水			○	
小便器仕切板(陶器製)、タオル掛(下地共)			○	下地補強は建築工事
洗面所、手洗所等の鏡	○			特殊なものは建築工事
ボイラーの煙突	○			鋼板製は機械設備工事
実験台に付属する設備機器		○		
実験台の配管等の接続		○		
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強	○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠		○		
天井、壁ボード類の下地補強	○			異出し、ボード取切り及び設備工事
簡易間仕切り(内装パネル)内の位置ボックス及び配管の取付	○			
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎	○			
屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎				屋根伏図に図示
配線ビッド及び蓋	○			
照明器具幹線等の吊りボルト用インサート		○		
身体検査着用の手すり	○			
洗濯機用防水パン及びトラップ			○	
F F 暖房機・クーラー等の配管用スリーブ	○			
電気・テレビ等の配線用スリーブ			○	
クーラー取付ボルト用インサート			○	建築図に図示
ユニットバス本体・付属品(シャワー金具・手すり・鏡・照明)			○	配管接続以降は設備工事
ユニットバス用換気扇			○	
消火器		○		公共住宅に適用
自衛機、電動パー、防火	1 次側配管配線		○	機器は建築工事
設備の音階制御器、感知器	2 次側配管配線		○	
地下タンス室			○	

※図示 ・設計GL=現状GL

○地区の区分に応じた風速(V(m/sec)) 30(県内全域)  
○地表面粗度区分 ・Ⅰ・Ⅱ ⅢⅣ  
○多雪地域の指定 垂直積雪量 100cm

工事現場には、下記掲示板を設置する。(記入例) (2. 3. 1)

90cm
上段の地色は、白色 文字は、青色
工 事 名 工 期 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日
発注者 (監 修) 設 計 監 理 施 工 建 築 (業者名を記入する) 電 気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 暖 房 (業者名を記入する)
60cm (75cm)
下段の地色は、青色 文字は、白色

(注意事項)  
①(監修)内は、監修を委託した場合。  
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。  
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

「石川県建設工事総合評価方式試案要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。

監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。(1. 5. 5)  
※敷地状況確認及び縄張り ※ベンチマーク ※遠方 ※視切り掘削完了時  
※主要構造部の配筋 ・型枠の組立て ・鉄骨原寸図 ※鉄骨ボルト締付け ※鉄骨建方  
その他監督員等の指示するもの

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。(1. 5. 7)  
※杭打ち ○コンクリートのスランプ確認及び打込み ・屋外タイル接着力試験  
・地盤改良部試験体採取 その他監督員等の指示するもの

20 中間検査

中間検査の実施 ※有 ・無 (1. 6. 2)  
実施時期 ※総体工事完了時

21 公共事業労務費調査等に対する協力

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をするしなければならない。工期経過後においても同様とする。  
1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力しなければならない。  
2) 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象となった場合には、その実施に協力しなければならない。  
3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。  
4) 対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。)が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。  
5) 本工事が「建設副産物実態調査」の対象となった場合、施主の求めに対して速やかに調査票を作成し、施主に提出しなければならない。

22 保 険

23 室内空気汚染対策

24 名札の着帯

25 施工体制台帳の作成等

工事目的物、工事材料等に生ずる損害を填補する保険は、下記による。  
※建設工事保険または組立保険(工事対象物を全て解体する工事を除く)  
加入期間 引渡しまで(引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで)

※実施する ・実施しない (1. 5. 9)

1) 測定の有無等  
イ) 測定の有無 ※有 ・無  
測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。  
ロ) 測定対象室  
測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。  
内装工事を行った居室について測定を行う。  
ハ) 1室当たりの測定箇所数

室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定箇所数	1	2	3	4

全ての測定箇所において、二)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。

二) 測定対象化学物質及び測定方法  
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知(平成24年4月5日 国営整第4号)「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。  
ホ) 測定時期  
測定は下記の時期に行うものとする。  
① 測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。  
② 別途工事又は家具の設置等が行われる前。  
③ 内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。  
④ 中央式空調設備のように換気を行ないながら空調を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。  
ヘ) 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置  
測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。  
ト) その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二)の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。

2) 施工中・施工後の通風、換気  
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にに行い、室内に放散した溶剤成分等の蓄積を図るものとする。  
3) 引き渡し時  
室内空気中に化学物質を発生させるおそれのある建築材料等を使用している場合は、監督員の指示により、その使用状況の一覧表を提出する。  
4) 揮発性有機化合物を発生させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(ア)からホ)の事項を満たすものとする。  
イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、床板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生させないか、放散が極めて少ないものとする。  
ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生させないか、放散が極めて少ないものとする。  
ハ) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生させないか、放散が極めて少ないものとする。  
ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生させないか、放散が極めて少ないものとする。  
ホ) 上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生させないか、放散が極めて少ないものとする。  
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。  
※「規制対象外」のもの  
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品  
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  
③下記表示のあるJAS規格品  
7)非ホルムアルデヒド系接着剤使用  
イ)接着剤等不使用  
ロ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生させない材料を使用  
ハ)ホルムアルデヒドを発生させない塗料等使用  
ニ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生させない塗料使用  
ホ)非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生させない塗料等使用

・「第三种」のもの  
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品  
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品  
③旧JISのE0規格品  
④旧JASのF0規格品

現場代理人及び主任(監理)技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。(ただし、請負員1,000万円以上の工事)

17mm	○建設(株)社員証	17mm
55mm	氏名 〇〇〇 太郎	40mm
10mm	発行日 令和〇年〇月〇日	40mm
10mm	代表者 〇〇 建 一 代表印	40mm
10mm	(顔写真) カラー写真 貼付	40mm
13mm	2mm 42mm 2mm 30mm 2mm	40mm
10mm	91mm	40mm

(注意事項)  
①名札として使用する用紙(台紙)は白色、寸法は上図(名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm)のとおりとする。  
②顔写真(カラー写真)の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。  
③ケースの寸法は上記①の用紙(台紙)が入る大きさとする。  
建設業法第24条の7に該当する施工体制台帳の作成が必要な工事は、当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げておくこと。

26 排出ガス対策型建設機械
27 創意工夫等
28 保険の付与及び事故の補償
29 電子納品
30 騒音振動の防止
31 隣接建物又は工作物の調査
32 敷地の状況確認
33 ダンプトラック等による過積載等の防止
34 景観への配慮
35 住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置

6 工事用道路
7 足場
8 危険物貯蔵所

3章 土 工 事
1 埋戻し及び盛土
2 建設発生土の処理
3 六価クロム溶出試験
4 山留め

4章 地 業 工 事
1 既製コンクリート杭地業
2 場所打ちコンクリート杭地業
3 砂利地業
4 床下防湿層

5章 鉄 筋 工 事
1 鉄筋の種類
2 溶接金網
3 鉄筋の継手
4 鉄筋の最小かぶり厚さ
5 帯筋
6 最上階柱頭補強
7 壁開口部の補強
8 梁貫通孔の補強形式
9 圧接完了後の試験

6章 コンクリート工事
1 コンクリートの種類及び強度等
2 寒中コンクリート
3 レディーミクスドコンクリートの種類
4 セメントの種類
5 骨材の品質
6 混和材料の種類
7 構造体強度補正值
8 型枠(せき板)の種類
9 コンクリートの打増し

10 断熱材兼用型枠
11 コンクリート躯体の表面処理

7章 鉄 骨 工 事
1 鉄骨の製作工場
2 施工管理技術者
鋼材の材質

4 普通ボルト
5 高力ボルト

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト
7 完全溶込み溶接部の試験
8 耐火被覆

9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
10 柱底均しモルタル工法

11 溶融亜鉛めっき工法
12 スカラップ

2章 仮 設 工 事
1 監督職員事務所
2 快適トイレ(快適トイレ実施要領に基づく)
3 工事用水
4 工事用電力
5 指定仮設

1 既製コンクリート杭地業
2 場所打ちコンクリート杭地業
3 砂利地業
4 床下防湿層

3 レディーミクスドコンクリートの種類
4 セメントの種類
5 骨材の品質
6 混和材料の種類
7 構造体強度補正值
8 型枠(せき板)の種類
9 コンクリートの打増し

9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
10 柱底均しモルタル工法
11 溶融亜鉛めっき工法
12 スカラップ

13 溶接条件
1) 入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所
・ 図示
○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
2) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
鋼材の種類 溶接材料の規格 溶接材料の種類 入熱 パス間温度
400N級炭素鋼
490N級炭素鋼
520N級炭素鋼
400N級炭素鋼 (STKR, BCR及びBCPIに限る。)
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPIに限る。)

3 押出成形セメント板 (ECP)
(8.5.2~8.5.5) (表8.5.1) (表8.5.2)
施工箇所 表面形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 凹凸充填 工法 耐火性能
外壁パネル ※F ・50・60 ・有・無 ・A種 ・有り ( )
・D ・50・60 ・有・無 ・B種 ・無し
・T ・60 ・有・無 ・C種 ・無し
間仕切壁パネル ※F ・有・無 ・B種 ・有り ( )
・D ・有・無 ・C種 ・無し
・T ・有・無
製造所 J I S A 5 4 4 1 による
(8.4.3) (8.5.3)
パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法 (建設省告示第109号による) を、1.2.2 (施工計画書) による品質計画で定める。

14 仮組
15 錆止め塗装
8 章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
項目 特記事項
1 建築用コンクリートブロック
1) 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)
断面形状及び圧縮強さによる区分 厚さ (mm) 適用箇所
※空洞ブロックC(16)
・空洞ブロックC(16)-W
2) コンクリートブロック縦壁及び塀 ※「標仕」表8.3.1及び下表による。 (8.3.2)
適用箇所 厚さ (mm)
・外壁
・間仕切壁
・地下二重壁
・塀 高さ 2m以下 ・120
2mを超える ・150
2 ALCパネル
(8.4.2~8.4.6) (表8.4.2) (表8.4.3) (表8.4.4)
種類 単位荷重 (N/m<sup>2</sup>) 厚さ (mm) 取付け工法種別等
・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル ・1180・1960 ・100・120 ・A種 ・B種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・間仕切壁パネル ※平パネル ・80・100 ・C種 ・D種 ・E種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する
・屋根パネル ・960 ・100 ・F種 耐火性能 ・有り (・1時間)
・床パネル ・2350・3530 ・100・150
外壁と間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 ※20 図示による (mm)

4 塗膜防水
1) 種別及び施工箇所 (9.5.2) (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)
種別 施工箇所 備考
・X-1 平ルノー 仕上げ塗料塗り
・X-2 シルバー カラー
・Y-1 地下外壁防水 Y-2工法の保護シート
・Y-2 屋内防水 ※適用する ・適用しない
2) 種別X-1の脱気装置
・設ける
種類 材料 設置数量
・平面部脱気型 ※製造所標準仕様 ・ステンレス製 ・アルミ製又はアルミ積物 ・製造所指定数量 ・1箇所/約50㎡当たり
・立上がり部脱気型 ※製造所標準仕様 ・製造所指定数量 ・1箇所/約10m間隔
5 シーリング
1) 下表以外は、「標仕」表9.7.1による。 (9.7.2) (表9.7.1)
施工箇所 シーリング材の種類 (記号)
外壁
2) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (施工部位)
(9.7.5)
防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。
施工箇所 種別 保証年限 備考
屋根 ○10年
・10年
・10年

10 章 石 工 事
項目 特記事項
1 天然石張り
1) 石の品質 (10.2.1)
イ) 床用石材 ※2等品 ・1等品 (施工箇所)
ロ) 壁及びその他の石材 ※1等品 ・2等品 (施工箇所)
2) 石の種類・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)
施工箇所 種類 産地・名称 厚さ (m) 仕上げの種類
2 テラソ張り
1) 種石の種類 ※大理石 (10.2.1)
2) 表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2)
3 壁の石張り工法
1) 外壁石張り (10.2.2) (10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3) (表10.2.4)
①工法
・外壁湿式工法 (※流し筋工法)
・乾式工法 (・スライド方式 ・ロッキング方式)
※乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2 (施工計画書) による品質計画で定める。
②あと施工アンカー 材質 ※ステンレス (SUS304)
③石裏面処理 ※行う (・小口共) ・行わない
④裏打ち処理 ※行う ・行わない
⑤ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ25~30φ (クロスメッシュ巻) ・ステンレス SUS304
2) 内壁石張り
①工法
・内壁空積工法 (※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法)
・乾式工法 (・スライド方式 ・ロッキング方式)
②あと施工アンカー 材質 ※ステンレス (SUS304)
③石裏面処理 ※行う (・小口共) ・行わない
④裏打ち処理 ※行う ・行わない
4 床及び階段の石張り
1) 床石張りの石裏面処理 ※行う ・行わない (10.6.2) (10.6.3)
2) 階段石張りの裏面の処理 ※行う ・行わない (10.1.5)
3) 屋内のワックス掛け ※行う ・行わない

12 章 木 工 事
項目 特記事項
1 県産材の使用
2 木材の品質
能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない。
木材の材質等は、下記による。
1) 現場搬入時の含水率 ※A種 ・B種
2) 木材の品質
イ) 製材 日本農林規格 ・一般建築用材
ロ) 保存処理木材の適用箇所 ※「標仕」12.4.1(2)による。
日本農林規格に規定する保存処理k3以上とし、木材保存剤はクレオソート油を除く。
※J I S A 9 0 0 2 (木質材料の加圧式保存処理方法) による防霉処理木材
(ハ) 下地材の等級は2級とする (12.2.1(2)(7))
(ニ) 造作材の材面の品質 ※A種 ・B種
(ホ) 壁板類の品質 ・無節 ・上小節 ・小節
3) 樹種
土台、水掛り枠類 見え掛り部分 見え隠れ部分 備考
下地材 (仕舞をきむ) ・檜・能登ヒバ・草檜 ・松・檜・杉 ・松・杉
造作材 ・檜・能登ヒバ・草檜 ・松・檜・杉・能登ヒバ・ラワン無節 ・ラワン材 防虫処理
板 材 ・
(イ) 代用樹種 (県産材を除く) ※認める ・認めない
(ロ) 堅木と図示のあるものの樹種は、ナラ、シオジ、セン、タモ、とし等級は1等とする。
(ハ) 断面の割増し
代用樹種を使用する場合は、建築基準法施行令第99条の規定の許容応力度に基づき断面を検討し、監督員の承認を得て使用する。
(ニ) 表面仕上げ
見え掛り面は原則としてかんな削り仕上げとする。 (12.1.4)
表面の仕上げの程度 ・A種 ・B種 ・C種 (表12.1.1)
3 集成材
1) 造作用集成材
品名 見付け材面の品質 樹種名
※1等 ・2等 ※たも ・なら ・しおじ
※1等 ・2等 ※たも ・なら ・しおじ
2) 化粧ばり造作用集成材
品名 見付け材面の品質 化粧薄板樹種名 化粧薄板の厚さ (mm)
※1等 ・2等
※1等 ・2等
※1等 ・2等
3) 造作用単板種層材
品名 表面の品質 防虫処理
・天然木化粧 ・塗装加工あり ・化粧加工なし (等) ・する ・しない
ホルムアルデヒドの放散量 (12.2.1)
※規制対象外 ・第三種
4) 接着剤
1) 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.2)
2) ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤 (以下、「ユリア樹脂等」という。) を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
5) 防蟻・防蟻処理
1) 防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲) (12.3.1)
2) 防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲)
3) 防蟻・防蟻剤は、クルピリホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存材とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承認を受ける。
4) 防蟻・防蟻処理の方法
現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に、現場にて表面処理用木材保存材を塗布することとする。 (12.3.2)
6) 防虫処理
ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1の防虫処理を行う。
出荷証明及び県産材使用証明 (12.2.1)
木材及び合板等は、品質や出荷量を記録した出荷証明書を提出する。
また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者 (資材の発注者) は合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」 (合法木材団体認定番号及び産地名が (石川県産) と明記されたもの) を監督員に提出する。

11 章 タ イ ル 工 事
項目 特記事項
1 タイルの種類 (11.2.2) (11.3.2)
施工箇所 形状寸法 (mm) 再生材の区分 吸水率による区分 釉薬 役物 色 備考
I種 II種 III種 施釉 無釉 有 無 標準 特注
風除室床 300\*600 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ・ ○ ○ ○
風除室壁 300\*600 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ・ ○ ○ ○
住戸玄関床 400\*400 ・ ・ ・ ・ ・ ○ ・ ○ ○ ○
備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。
役物・標準曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする
2) タイルの見本焼き ※行わない ・行う (※外壁タイル)
3) 原料に再生材料を用いる再生材利用タイルの品質
イ) 20章 ユニット及びその他工事の「石川県リサイクル認定製品」を使用すると特記されている場合は、特記による。
ロ) イ) 以外は、再生材料を用いて焼成されたタイルとし、再生材料利用率は総原料の重量比で20%以上 (種数の再生材料を用いる場合は、その合計) 使用されているものとし、再生材に用いる原料の種類及び焼成前処理方法は下表による。ただし、再生材料は通常製造している同一工場からの廃材は除くものとする。(グリーン購入法「特定調達品目」判断基準)
再生材に用いる原料の種類 焼成前処理方法
採石及び窯業廃土、無機塗砂、鉄鋼スラグ、非鉄スラグ、矽物、陶磁器屑、石灰塵、廃プラスチック、建設廃材 (汚泥を除く) 前処理によらず対象
廃ゴム、廃ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥
都市ゴミの焼成灰 焼成灰又は熔融スラッジ化
下水道汚泥 焼成灰又は熔融スラッジ化
1) 内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り (11.2.7) (11.3.7) (表11.2.3) (表11.3.2)
2) 外装タイル ・密着張り ・マスク張り ・改良圧着張り ・接着剤張り
3) 下地モルタル塗り ※「標仕」15.2.2~15.2.5
4) タイルの試験張り ※行わない ・行う (※外壁タイル) (11.2.2) (11.3.2)
5) 既調合モルタルの品質及び性能 (11.2.3)
項目 単位容積質量 (kg/l) 保水率 (%) 接着強さ (N/mm<sup>2</sup>) 長さ変化率 (%) 曲げ強さ (N/mm<sup>2</sup>)
品名・項目 1.8以上 70.0以上 0.6以上 0.4以上 0.2以上 4.0以上
3 コンクリート素地面の処理
・MCR工法 ・目荒らし工法 (11.2.7) (11.3.7) (6.8.3) (15.2.3)
施工範囲 図示

13 章 屋 根 及 び と い 工 事
項目 特記事項
1 長尺金属板葺
(13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)
屋根葺形式 長尺金属板の種類 板厚 (mm)
・ ※塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 ※0.4
及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150)
・ 建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法 (建設省告示第109号による) を、1.2.2 (施工計画書) による品質管理で定める。
保証年限 ・10年 ・15年 ・20年
※塩害保証条件により素材を決定すること。
2 折板葺
1) 折板葺の形式等 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)
形 式 ※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形
形状 (mm) 山高 ( ) 山ピッチ ( ) 板厚※0.6 ・0.8
材 料 ※塗装溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板 (CZACCR-20-YZ5)
・塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板 (GGLCCR-20-AZ150)
(規格等)
軒先面戸板 ※有り ・無し
断 熱 材 ※有り (種別) 厚さ: (mm) ・無し
耐火性能 ※30分耐火 ・無し その他 材料はJIS規格に基づく
・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法 (建設省告示第109号による) を、1.2.2 (施工計画書) による品質管理で定める。
2) 保証年限 ・10年

Table with 4 columns: 形状による区分, 寸法による区分, 製法による区分, 備考. Includes details for 粘土瓦 and 14章 金属工事項目.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 1) あと施工アーカーの引抜き耐圧試験, 2) ステンレスの表面仕上げ, 3) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 4) 鉄鋼の亜鉛めっき, 5) 軽量鉄骨天井下地.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 6) 金属成形板張り.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 7) アルミニウム製笠木.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 8) 手すり及びタラップ.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 9) フッ素樹脂付塗装鋼板, 10) 体育館の鋼製床下地.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 1) モルタル塗り材料, 2) 床コンクリートの直均し仕上げ, 3) セルフレベリング材塗り, 4) 仕上塗材仕上げ.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 1) 見本の製作等, 2) アルミニウム製建具, 3) 樹脂製建具, 4) 網戸.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 6) 鋼製建具, 7) 標準型鋼製建具, 8) 鋼製軽量建具, 9) 標準型鋼製軽量建具, 10) ステンレス製建具, 11) 木製建具, 12) 建具用金物, 13) 自動ドア開閉装置, 14) 自閉式上吊り引戸装置, 15) 重量シャッター, 16) 軽量シャッター, 17) オーバーヘッドドア.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 18) ガラス.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 4) 複層ガラス, 5) 熱線反射板ガラス, 6) 倍強度ガラス.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 19) ガラス留め材及び溝, 20) ガラスブロック積み.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 21) ガラス用フィルム.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 17章 カーテンウォール工事.

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes details for 1) メタルカーテンウォール.

Table with columns for material specifications, including seismic performance, fire resistance, and material types like metal, glass, and insulation. Includes detailed notes on construction methods and standards.

Table with columns for construction items (項目) and special notes (特記事項). Lists materials like concrete, plaster, and tiles with their respective specifications and application details.

Table detailing carpet and flooring specifications. Includes sections for carpet types, flooring materials, and acoustic treatments, with specific performance metrics and installation instructions.

Table detailing thermal insulation and acoustic materials. Includes specifications for various insulation types, acoustic panels, and fire-resistant materials, along with their performance characteristics.

21	誘導用及び注意喚起用床材	視覚障害者用タイル (19. 2. 2)			
		適用箇所	種類	寸法 (mm)	
		屋内	塩化ビニル系 ・磁器又はせつ器タイル	※300×300	ブロックパターンはJIST 9251による
		屋外	・コンクリート系 ・レジンコンクリート系 ・磁器又はせつ器タイル	※300×300×60 ・300×300×30 ※300×300	

20章 ユニットのその他工事

1	耐震スリット	方向	タイプ	耐火性能	防水性能
		・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型	・有り
		・水平方向	・部分スリット	・非耐火型	・無し
		目地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)	
目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)			
目地寸法 (mm)	※20×10	※20×10			

2	イソパネンジョイ外金物	材質	クリアランス	耐火性能	防水性能
		・アルミ ・ステンレス	・50 ・100 ・150	・あり ・なし	・あり ・なし

3 止水板

4	フリーアクセスフロア	形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式
		施工箇所	※図示
		耐火性能	・耐火型 ・非耐火型
		防水性能	・有り ・無し

5	可動間仕切	構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料の認定
		※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※銅板 (※0.5)	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上	・あり
		製造所等	JIS A6512によるもの又は「評価名簿」によるもの				
		製造所等	JIS A6512によるもの又は「評価名簿」によるもの				

6	移動間仕切	遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ (注2)	操作方法	施工箇所
		・一般タイプ	・	※銅板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・
		・遮音タイプ (注1)	・	※銅板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・
		注1	JISA 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。				

7	トイレブース	表面仕上げ材	脚部の形状・材質	ドアエッジの形状・材質
		※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	・アルミニウム ・フラット形 ・曲面形 ・ステンレス製
		材質	ステンレス SUS304	
		形状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し	

8	階段滑止め	種類	仕上等	手すり径等 (mm)	施工箇所
		・集成材 (市販品)	※クリアラッカー	・45	・
9	階段手すり	種類	仕上等	手すり径等 (mm)	施工箇所
		・ビニル製ハンドル	・耐候性タイプ	・50 (幅) ○34	・40

10	黒板及びホワイトボード	種類	寸法 (mm)	備考
		・黒板	・焼付け	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		・ホワイトボード	・ほうろう	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
		表示標識	衝突防止表示 ※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。製造所 監督職員の承諾する製造所	

11	表示標識	衝突防止表示	※図示 (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・無し 法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。製造所 監督職員の承諾する製造所		
		適用安全使用温度	※400℃ ・650℃		

12	煙突用成形ライニング材	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
		※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100
		※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)	使用区分		

13	ブラインド	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
		※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100
		※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)	使用区分		

14	ブラインドボックス及びカーテンボックス	形状	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
		※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100
		※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)	使用区分		

15	ロールスクリーン	操作方法	スクリーンの種類	品質等
		・ブルコード式 (ストッパー付)	・無地 ・柄物 ・遮光タイプ	・
		・ワンタッチチェーン式 ・チェーン式 ・電動式	製造所	・
		製造所	・	

16	カーテン及びカーテンレール	形式	装置	名称・品質	ひだの種類	備考	
		施工箇所	引分	電動	ひも引	手引	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・

17	ビクチャーレール	材質	アルミニウム製 (シルバー)
		形式	先付け天井埋込型 (見切縁兼用)
		材質	本体: 真鍮性 フック: ステンレス製 (可動式)
		耐荷重	25kg程度/個

18	天井点検口	目地形状	運用箇所	寸法 (mm)
		額縁タイプ	下記以外全て	※450×450
		目地タイプ	※図示	・600×600
		目地タイプ	・天井仕上げ材がDRの範囲	・

19	床点検口	品質及び性能等	材料の品質・規格及び性能 (表14. 2. 1)		
		内外枠の材質	アルミニウム合金押出型材 (表面処理: C-1種又はC-2種による) (JIS H 4100 A6063S-T5による)		
		内外の仕上げ材	アルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき銅板類及び同等の性能を有するもの		
		寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内	

20	収納家具・書架・物品棚	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)
		※アルミ製	※アルミ ・ステンレス ・黄銅	下記以外全て	※600×600
		・ステンレス製	・	・	・
		品質及び性能等	品質・規格及び性能		

21	かざ箱	材質	品質・規格及び性能			
		アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A6063Sによる	表面処理	A-1種又はA-2種による	
		アルミニウム板	JIS H 4000 A1100PH24による	表面処理	HL又はNo2B程度	
		ステンレス製	JIS G 4305 (目地材はG 4308も含む) のSUS304による	表面処理	HL又はNo2B程度	

22	くつふきマット	寸法許容差 (mm)	受け枠寸法の許容差	±0.5
		蓋枠寸法の許容差	±0.5	
		受け枠と蓋枠のクリアランス (片側)	2.0以内	
		耐荷重性能	荷重Pn=1.000Nにおける蓋中央部の点検口有効径の0.08%以内残留たわみ	

23	流し台ユニット	ホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外 ・第三種		
		市販品	形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用		
		市販品	材質 ・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)		
		※1200 ・1500 ・1800	規格・品質等		

24	屋内掲示板	種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○流し台	※1200 ・1500 ・1800	○2250	トラップ付き	※優良住宅部品
		○コンロ台	※600 ・700	・	バックガード ※有り	(セキョウキケンI型)
		○つり戸棚	※1200 ・900 ・800	・	○シフトキャッチ	※市販品

25	洗面カウンター	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
		・メラミン樹脂化粧張り (心材: 集成材)	・人工大理石 (仕様は図示)	・	・
		奥行 (mm)	・約450 ・約600	・	・
		・水切り棚	※1200 ・900	・	ステンレス製 ※1段式

26	防煙垂れ壁	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
		・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
		・線入り磨板ガラス	・	・	・
		・可動式	備考		

27	敷地境界石碑	種類	材質	高さ (mm)	備考
		・垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
		・回転降下式	銅板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り
		降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型) 品質・規格 (財)日本建築センターの防災性能評定品		

28	旗竿	材質	※アルミニウム合金製		
		形式	※テーパー型 ・同一断面型		
		地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12		
		操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式		

29	旗竿受金物	材質	ステンレス製 SUS304		
		コーナースビス及び取付け金物等	鋼材に垂れめっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの		
		寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内	
		寸法許容差	外枠と内枠のクリアランス	2.0mm以内	

30	フェンス	材質	※アルミニウム合金製		
		形式	※テーパー型 ・同一断面型		
		地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12		
		操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式		

31	屋外掲示板	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
		・メラミン樹脂化粧張り (心材: 集成材)	・人工大理石 (仕様は図示)	・	・
		奥行 (mm)	・約450 ・約600	・	・
		・水切り棚	※1200 ・900	・	ステンレス製 ※1段式

32	車止め支柱	材質	ステンレス製 (上下式鎖内蔵型、反射テープ付き) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm		
		形式	※スプリング付 ・スプリング無し		
		寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内	
		寸法許容差	外枠と内枠のクリアランス	2.0mm以内	

33	建築銘板	設置等	下記による。		
		(イ) 設置	・設置する ・設置しない		
		(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)		
		(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)		

34	リサイクル製品の使用	品質	主要構造部材の材料	形状寸法 (mm)	備考
		・収納家具	JIS S1033 (ワイヤ用 収納家具) による	・鋼製 ・木製	・図示
		・書架	JIS S1039 (書架 物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示
		・物品棚	JIS S1039 (書架 物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示

35	伝統産業工芸品の使用	種類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等	
		○流し台	※1200 ・1500 ・1800	○2250	トラップ付き	※優良住宅部品
		○コンロ台	※600 ・700	・	バックガード ※有り	(セキョウキケンI型)
		○つり戸棚	※1200 ・900 ・800	・	○シフトキャッチ	※市販品

この建築工事ではリサイクル製品として  
〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇〇〇  
を使用しています。

建設副産物リサイクルシンボルマーク  
(注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること

21章 排水工事

1	排水管	排水管用材料	(21. 2. 1) (表21. 2. 1)		
		材質	管の種類	管形状 (接合方法)	
		※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・2種)	B形 (ゴム接合)	
		○硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU		

2	排水樹及びふた	種類	適用荷重	鍵
		・水封形 ・密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用	・あり ・なし
		・簡易気密形 (パッキン式)	・T-20用	・
		・中ふた付密閉形 (テーパー・パッキン式)	・T-20用	・

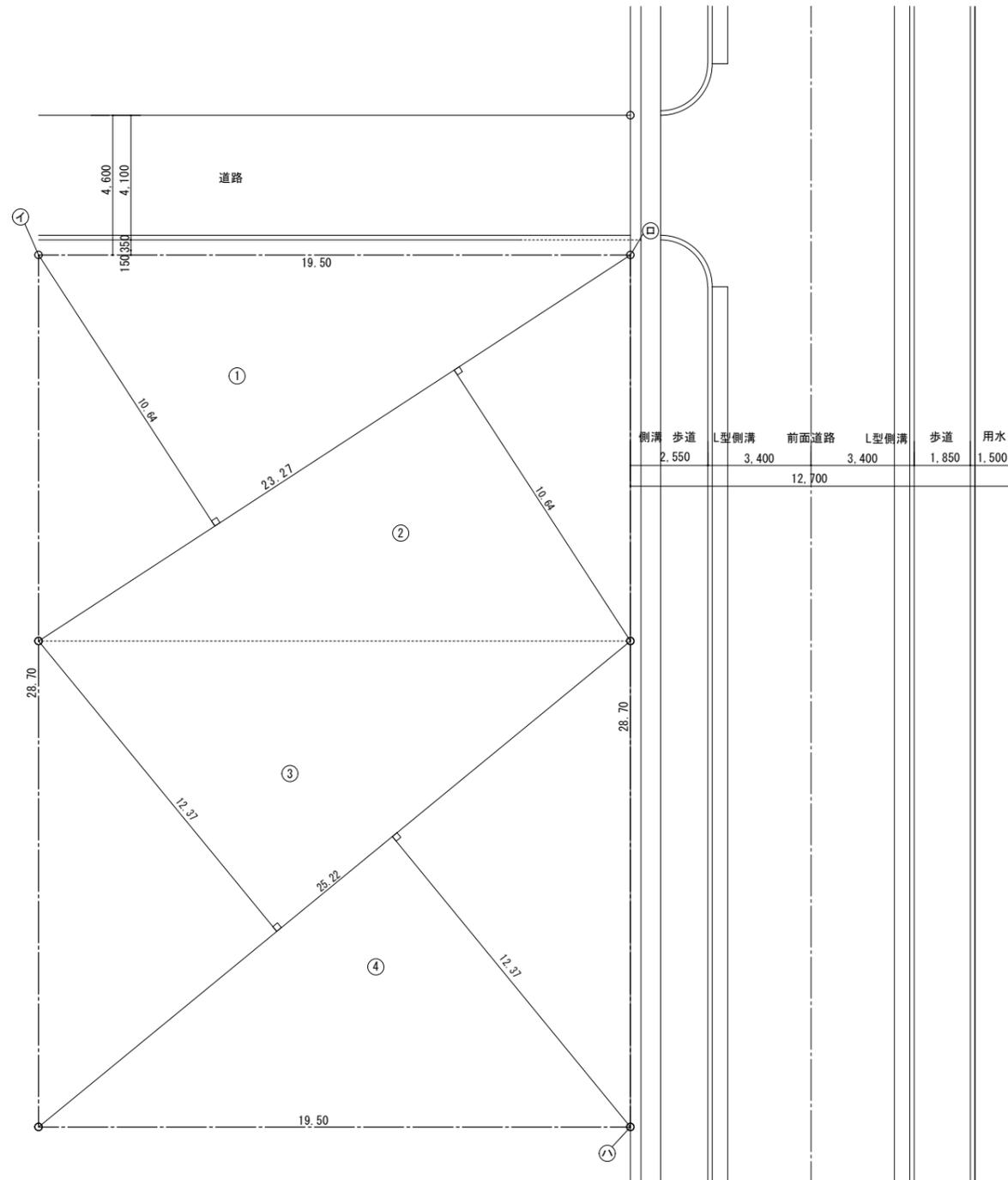
3	埋戻し土	種類	適用荷重	寸法	形状	
		○鋼製	※受枠付き	・歩行用	※細目	※凹凸形
		・ステンレス製	・	・T-2用	※普通目	※平形
		・	・	・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	・凹凸形

4	浸透管及び浸透樹	種類	適用荷重	寸法	形状	
		○鋼製	※受枠付き	・歩行用	※細目	※凹凸形
		・ステンレス製	・	・T-2用	※普通目	※平形
		・	・	・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	・凹凸形

22章 舗装工事					
項目	特記事項				
1	盛土に用いる材料 (22. 2. 3) (表3. 2. 1) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G				
2	凍上抑制層の材料 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 (22. 2. 3)				
3	1) 路床安定処理 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) ※添加材料による安定処理 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 G ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( ) 添加量 kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ※5以上 ) ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ(mm) 0. 5~1. 0 引張り強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水許数 1. 5×10cm/sec以上 2) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22. 2. 2) 車道部 ※150mm ( ) 歩道部 ※50mm ( ) 3) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) (22. 2. 5) 4) 路床締固め度の試験 ※行う (22. 2. 5) 5) 砂の粒度試験 ※行う (22. 2. 5)				
4	路盤 1) 材料 G (22. 3. 3) (表22. 3. 1) ※再生クラッシュラン (RC-40) (22. 3. 3) (表22. 3. 1) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) 2) 路盤の厚さ (22. 3. 3)				
	舗装の種類	路盤の厚さ (mm)	車道部	歩道部	
	アスファルト舗装	・100 ○150 ・250 ・300	・100	・100	
	コンクリート舗装	・150	○100	・100	
	カラー舗装	・100 ・150 ・250 ・300	・100	・100	
	透水性アスファルト舗装			・100	
	インターロッキングブロック舗装	・100 ・150 ・250		・100	
	3) 路盤の締固め度試験 ※行う (22. 3. 5)				
5	アスファルト舗装 アスファルト舗装の構成及び厚さ (22. 4. 2)	舗装の厚さ (mm)	部位	基層	表層
	車道部 (基層なし)			・50	・
	車道部 (基層あり)	・50		・30	・
	歩道部			・30	・
	アスファルト ※再生アスファルト G ・ストレートアスファルト (22. 4. 3) 再生加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 4)	区分	・一般地域	※寒冷地域	
		表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)	
			・細粒度アスファルト混合物 (13)		
	シールコート ※行わない ・行う (施工範囲: ) (22. 4. 5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22. 4. 6)				
6	コンクリート舗装 早強セメント ※使用しない ・使用する (22. 5. 3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22. 5. 3) (表22. 5. 2) 溶接金網 ※有り ・無し (22. 5. 3) (22. 5. 4) 厚さ試験 ※行う ・行わない (22. 5. 6)				
7	カラー舗装 カラー舗装の種類 (22. 6. 2~4) (表22. 6. 1~2)	種類	車道部の基層	着色骨材等	カラー舗装の厚さ (mm)
		※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材 (焼成)	・5~7%
		・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材 (樹脂被覆)	・%
		・樹脂系混合物		・自然石	・30
		・ニート工法		・エメリー	5~10
		・塗布工法		・着色磁器質骨材	3~5
					1程度以下
8	透水性アスファルト舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22. 7. 6)				

9 ブロック系舗装	
項目	特記事項
	・コンクリート平板舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
	種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 表面加工
	※普通平板 (N) ※300角 ※60 ※砂 ・研ぎ出し ・洗い出し
	・透水平板 (P) ・ ・ ・モルタル ・たたき出し
	・インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
	種類 曲げ強度 厚さ (mm) 表面加工及び色彩等
	※普通タイプ 5N/mm <sup>2</sup> 以上 車道部 ※80 ・ ※標準タイプ
	・誘導、注意喚起用タイプ 歩道部 ※60 ・ ・表面化粧タイプ
	・透水性タイプ 3N/mm <sup>2</sup> 以上 誘導、注意喚起用は
	・植生タイプ 4N/mm <sup>2</sup> 以上 ※100 ・80 黄色とする
	製造所 JIS A 53711による。
	・鋪石舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
	種類 厚さ (mm) 施工方法 基層
	※小鋪石 (花こう岩) ※80~100 ※うろこ張り ※コンクリート舗装
	・ ・ ・ ・アスファルト舗装
10	区画線 路面表示用塗料 規格番号 種類 施工時の条件 適用 寸法 (mm) 色 彩
	・1種 G 常温 液状 幅 ※150 ・ ※白
	JIS K 5665 ・2種 G 加熱 厚さ ※1. 0 ・ ・黄
	※3種1号 熔融 粉体状
	揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。
23章 植栽工事	
項目	特記事項
1	土壌の酸度、塩分量試験 ※行う (23. 1. 3)
2	樹木の植栽基礎整備 芝及び地被類 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)
	適用 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲
	※行う ・行わない ※20 ・ ※B種 ・ ※植栽範囲 ・ 図示
	樹木 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)
	樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲
	・12以上 ※100 ・ ※A種 ※葉張りの範囲
	・7以上~12未満 ※80 ・ ・B種 ただし、低木は植栽範囲
	・3以上~7未満 ※60 ・ ・C種 ・ 図示
	・3未満 ※50 ・ ・D種
	工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
3	植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土 (※細土 ・黒土) (23. 2. 3)
4	土壌改良材 G ※適用する (23. 2. 3) (23. 2. 4)
	施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示
	・バークたい肥
	有機物の含有量 (乾物) : 70%以上
	炭素窒素比 (C/N比) : 3. 5以下
	陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上
	pH : 5. 5~7. 5
	水分 : 55~65%
	幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない
	窒素含量 (現物) : 0. 5%以上
	りん酸含量 (現物) : 0. 2%以下
	カリ含量 (現物) : 0. 1%以上
	・発酵下水汚泥コンポスト
	「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする。
	ヒ素 : 0. 005%以下
	カドミウム : 0. 0005%以下
	水銀 : 0. 0002%以下
	ニッケル : 0. 03%以下
	クロム : 0. 05%以下
	鉛 : 0. 01%以下
	有機物の含有量 (乾物) : 35%以上
	炭素窒素比 (C/N比) : 2. 0以下
	pH : 8. 5以下
	水分 : 50%以下
	窒素含量 (現物) : 0. 8%以上
	りん酸含量 (現物) : 1. 0%以上
	アルカリ分 (現物) : 1. 5%以下
5	支柱材 ※丸太又は間伐材 G ・竹 (23. 3. 2)
6	幹巻き用テープ ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23. 3. 2)
7	芝張り 種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23. 4. 2)
8	枯補償 提出すること。
9	吹付けは種 種子の種類 ※洋芝類又はクローバー (採取後2年以内) (23. 4. 2) 種子の量 ※発芽率80%以上
10	屋上緑化 G 植栽基礎及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3) ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 保水/排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ: ) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等 ※ 図示 ・屋上緑化軽量システム (23. 5. 3) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 (23. 5. 4) 固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1. 2. 2 (施工計画書) による品質計画で定める。 支柱 ・設置する (種類 ・ 図示 ) かん水装置 ・設置する (工事区分は 図示 による)

24章 その他	
項目	特記事項
1	いしかわ土日おやすみモデル工事 (発注者指定型) 本工事は、工事現場において原則土日を休日とする週休2日の工事「いしかわ土日おやすみモデル工事」(以下、「モデル工事」)(発注者指定型)の対象工事であり、下記に基づき監督員と協議すること。 (1) 受注者は、現場に週休二日に取り組みことを記載した工事看板を設置すること。 (2) 受注者は、現場着手日までに原則土日を休日とした週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5) 週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ土日おやすみモデル工事 実施要領」を参照すること。 (6) モデル工事の検証を行うため、受注者(下請企業を含む)は、別に定めるアンケートに協力すること。 (7) 当初の予定価格の設定において、4週8休以上(現場閉所率28. 5% (8日/28日)以上)を前提に補正係数1. 05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正しており、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。この場合、評定の減点等のペナルティは行わない。 いしかわ土日おやすみモデル工事(施工者希望型) 本工事は、工事現場において原則土日を休日とする週休2日の工事「いしかわ土日おやすみモデル工事」(以下、「モデル工事」)(施工者希望型)の対象工事であり、下記に基づき監督員と協議すること。 1 モデル工事の実施協議 (1) 受注者は、現場着手日までに、様式1の協議書によりモデル工事の実施の有無を発注者と協議すること。 (2) ①(1)の協議によりモデル工事を実施する場合は、以下(2以降)の内容について監督員と協議すること。 ②(1)の協議によりモデル工事を実施しない場合は、以下(2以降)の内容によらず施工するものとする。 (3) (1)の協議によりモデル工事を実施しない場合は、別に定めるアンケートに協力すること。 2 モデル工事の内容 (1) 受注者は、現場に週休二日に取り組みことを記載した工事看板を設置すること。 (2) 受注者は、現場着手日までに原則土日を休日とした週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5) 週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ土日おやすみモデル工事 実施要領」を参照すること。 (6) モデル工事の検証を行うため、受注者(下請企業を含む)は、別に定めるアンケートに協力すること。 (7) 本工事は、当初設計では、週休2日を前提とした計上はしていない。 発注者は、4週8休以上(現場閉所率28. 5% (8日/28日)以上)を確認し、補正係数1. 05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正し、請負代金額を変更する。なお、4週8休に満たない場合は、変更の対象としない。 なお、1の協議によりモデル工事を実施し、週休2日の確保が確認できなかった場合、減額や評定の減点等のペナルティは行わない。 ※ いしかわ土日おやすみモデル工事ではない 但し、受注者から希望があり発注者と協議が整った場合は「いしかわ土日おやすみモデル工事(施工者希望型)」と、同様の取り扱いができる。

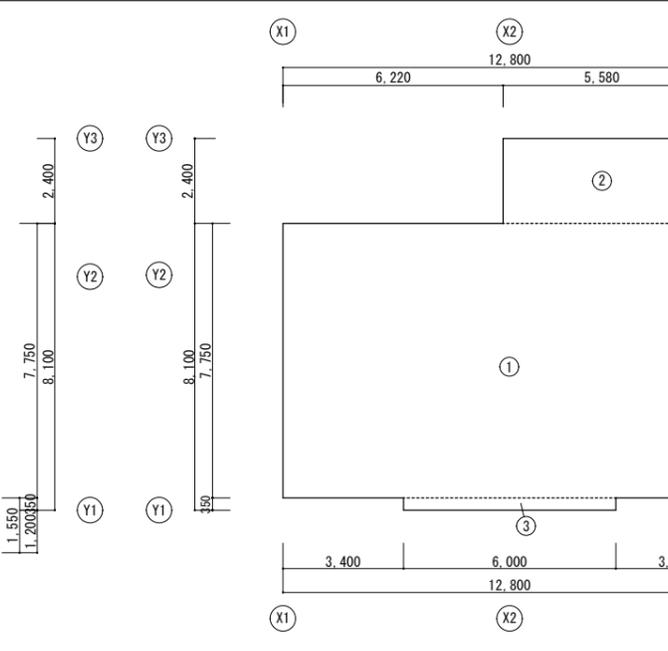
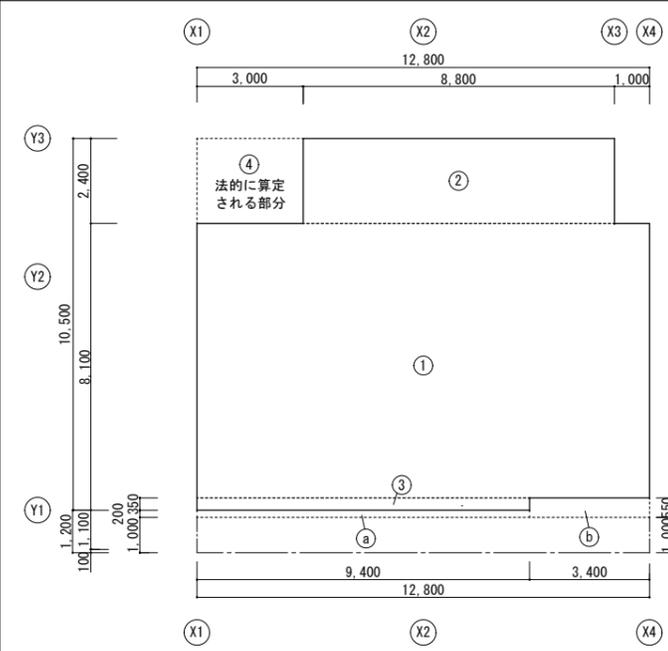
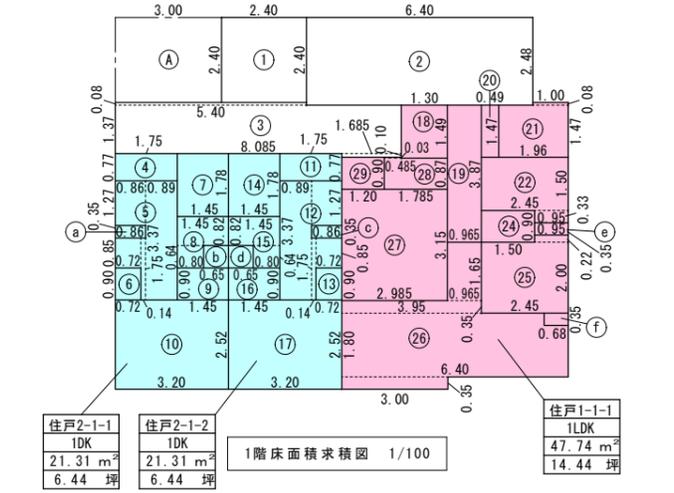
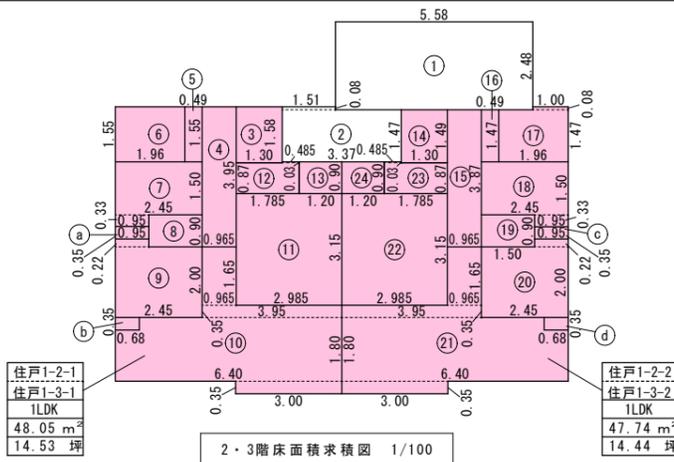


地番		㊸ 稲荷山	
	底辺	高さ	計
①	23.27	10.64	247.592800
②	23.27	10.64	247.592800
		倍面積	495.185600
		面積	247.592800
		地積	247.59

地番		㊹ 稲荷山	
	底辺	高さ	計
①	25.22	12.37	311.971400
②	25.22	12.37	311.971400
		倍面積	623.942800
		面積	311.971400
		地積	311.97

敷地面積		
	地番	計
㊸	稲荷山	247.59 m <sup>2</sup>
㊹	稲荷山	311.97 m <sup>2</sup>
合計		559.56 m <sup>2</sup>

道路 敷地と接している部分の長さ		
記号		計
㊸	㊹	19.50 m
㊹	㊸	28.70 m
合計		48.20 m



番号	計算式	面積
①	12.800 × 7.750	99.2000
②	8.800 × 2.400	21.1200
③	9.400 × 0.350	3.2900
④	3.000 × 2.400	7.2000
計		130.8100
1階計		130.81 m <sup>2</sup>

番号	計算式	面積
①	12.800 × 7.750	99.2000
②	5.580 × 2.400	13.3920
③	6.000 × 0.350	2.1000
計		114.6920
2階計		114.69 m <sup>2</sup>

番号	計算式	面積
①	12.800 × 7.750	99.2000
②	5.580 × 2.400	13.3920
③	6.000 × 0.350	2.1000
計		114.6920
3階計		114.69 m <sup>2</sup>

1階+2階+3階計		360.19 m <sup>2</sup>
-----------	--	-----------------------

134.56 / 559.56 × 100 = 24.0475	24.05	≤ 60%
---------------------------------	-------	-------

360.19 / 559.56 × 100 = 64.3702	64.38	≤ 200%
---------------------------------	-------	--------

1階 床面積より	130.8100
① 9.400 × 0.200	1.8800
② 3.400 × 0.550	1.8700
計	134.5600
合計	134.56 m <sup>2</sup>

1階	130.81
2階	114.69
3階	114.69
合計	360.19 m <sup>2</sup>

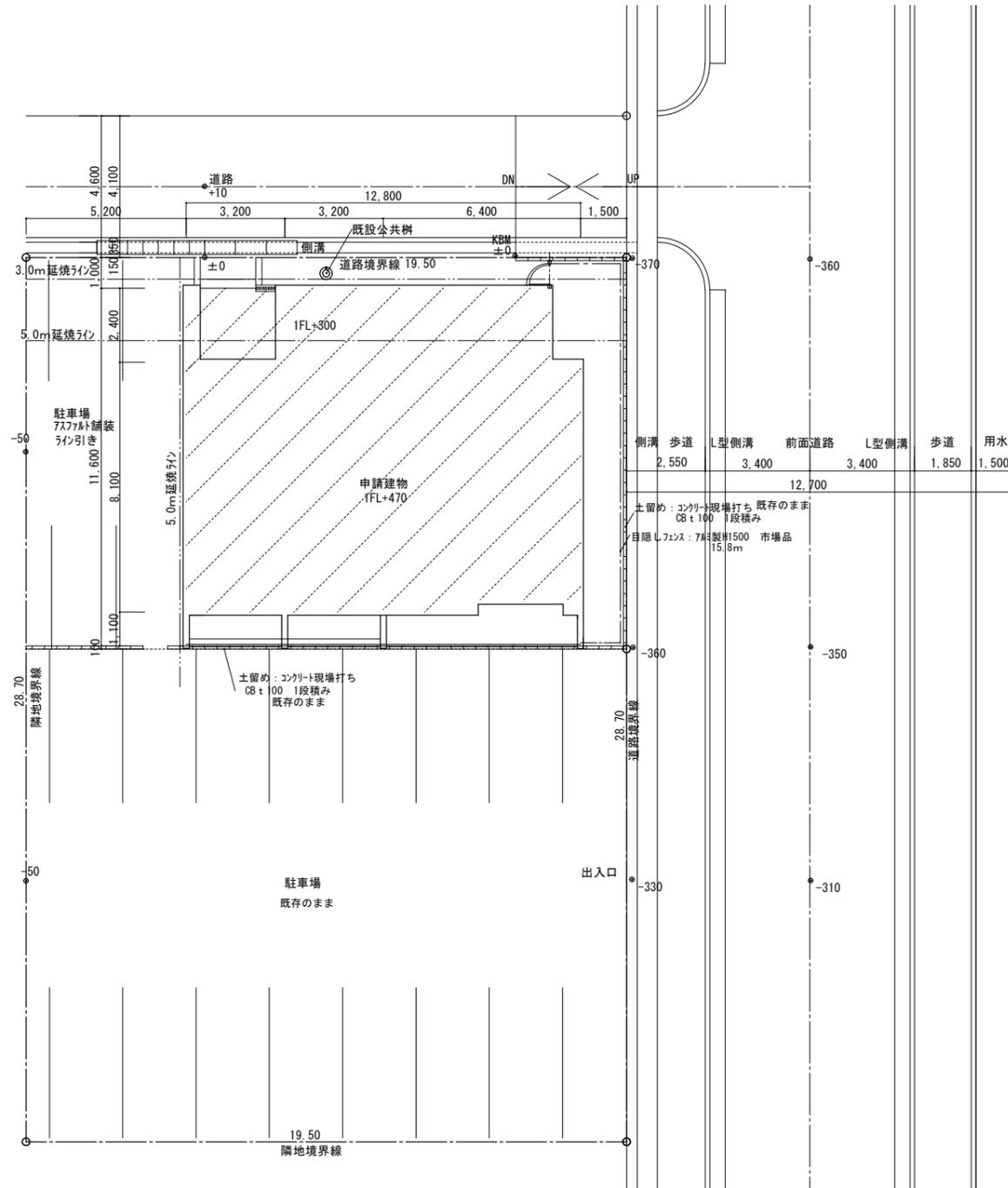
符号	室名	計算式	面積m <sup>2</sup>	居室面積m <sup>2</sup>
①	風除室	2.40 × 2.40	5.7600	
②	階段	6.40 × 2.48	15.8720	
③	廊下	8.085 × 1.37 = 11.0765 5.40 × 0.08 = 0.4320 1.685 × 0.10 = 0.1685	11.6770	
1階共用部面積			計 40.5090	
			40.50 m <sup>2</sup>	
④	玄関	1.75 × 0.77	1.3475	
⑤	廊下	0.89 × 3.37 = 2.9993 0.86 × 1.27 = 1.0922 0.72 × 0.85 = 0.6120 0.14 × 1.75 = 0.2450	4.9485	
⑥	CL	0.72 × 0.90	0.6480	
⑦	UB	1.45 × 1.78	2.5810	
⑧	洗面・脱衣	1.45 × 0.82 = 1.1890 0.80 × 0.64 = 0.5120	1.7010	
⑨	WC	1.45 × 0.90	1.3050	
⑩	LK	3.20 × 2.52	8.0640	8.0640
a	PS	0.86 × 0.35	0.3010	
b	PS	0.65 × 0.64	0.4160	
住戸1-2-1面積			計 21.3120	
			21.31 m <sup>2</sup>	
⑪	玄関	1.75 × 0.77	1.3475	
⑫	廊下	0.89 × 3.37 = 2.9993 0.86 × 1.27 = 1.0922 0.72 × 0.85 = 0.6120 0.14 × 1.75 = 0.2450	4.9485	
⑬	CL	0.72 × 0.90	0.6480	
⑭	UB	1.45 × 1.78	2.5810	
⑮	洗面・脱衣	1.45 × 0.82 = 1.1890 0.80 × 0.64 = 0.5120	1.7010	

符号	室名	計算式	面積m <sup>2</sup>	居室面積m <sup>2</sup>
⑬	WC	1.45 × 0.90	1.3050	
⑭	LK	3.20 × 2.52	8.0640	8.0640
c	PS	0.86 × 0.35	0.3010	
d	PS	0.65 × 0.64	0.4160	
住戸1-2-2面積			計 21.3120	
			21.31 m <sup>2</sup>	
⑯	玄関	1.30 × 1.49	1.9370	
⑰	廊下	0.965 × 3.87	3.7346	
⑱	収納	0.49 × 1.47	0.7203	
⑲	UB	1.96 × 1.47 = 2.8812 1.00 × 0.08 = 0.0800	2.9612	
⑳	洗面・脱衣	2.45 × 1.50 = 3.6750 0.95 × 0.33 = 0.3135	3.9885	
㉑	WC	1.50 × 0.90	1.3500	
㉒	キッチン	2.45 × 2.00 = 4.9000 0.95 × 0.22 = 0.2090	5.1090	5.1090
㉓	LD	6.40 × 1.80 = 11.5200 0.965 × 1.65 = 1.5923 3.95 × 0.35 = 1.3825 3.00 × 0.35 = 1.0500	15.3068	15.3068
住戸1-1-1面積			計 47.7461	
			47.74 m <sup>2</sup>	
㉔	洋室	2.985 × 3.15	9.4028	9.4028
㉕	クォーターコート	1.785 × 0.88 = 1.5708 0.485 × 0.03 = 0.0146	1.5854	
㉖	エキョウト	1.20 × 0.90	1.0800	
e	PS	0.95 × 0.35	0.3325	
f	PS	0.68 × 0.35	0.2380	
住戸1-1-1面積			計 47.7461	
			47.74 m <sup>2</sup>	
面積計			130.87 m <sup>2</sup>	45.94 m <sup>2</sup>

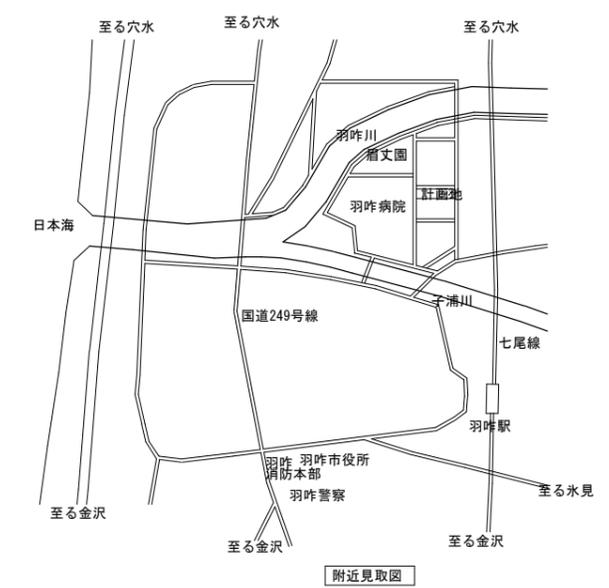
符号	室名	計算式	面積m <sup>2</sup>	居室面積m <sup>2</sup>
①	階段	5.58 × 2.48	13.8384	
②	廊下	3.37 × 1.47 = 4.9539 1.51 × 0.08 = 0.1208	5.0747	
2階共用部面積			18.9131	
			18.91 m <sup>2</sup>	
③	玄関	1.30 × 1.58	2.0540	
④	廊下	0.965 × 3.95	3.8118	
⑤	収納	1.55 × 0.49	0.7595	
⑥	UB	1.96 × 1.55	3.0380	
⑦	洗面・脱衣	2.45 × 1.50 = 3.6750 0.95 × 0.33 = 0.3135	3.9885	
⑧	WC	1.50 × 0.90	1.3500	
⑨	キッチン	2.45 × 2.00 = 4.9000 0.95 × 0.22 = 0.2090	5.1090	5.1090
⑩	LD	6.40 × 1.80 = 11.5200 0.965 × 1.65 = 1.5923 3.95 × 0.35 = 1.3825 3.00 × 0.35 = 1.0500	15.3068	15.3068
住戸1-2-1・住戸1-3-1面積			計 48.0563	
			48.05 m <sup>2</sup>	
共用部床面積		m <sup>2</sup>		
1階共用部		40.50		
2階共用部		18.91		
3階共用部		18.91		
合計		78.32 m <sup>2</sup>		
住居部床面積		m <sup>2</sup>		
1階住居部				
住戸1-1-1		21.31		
住戸2-1-1		21.31		
住戸2-1-2		47.74		
計		90.36 m <sup>2</sup>		
2階住居部				
住戸1-2-1		48.05		
住戸1-2-2		47.74		
計		95.79 m <sup>2</sup>		
3階住居部				
住戸1-3-1		48.05		
住戸1-3-2		47.74		
計		95.79 m <sup>2</sup>		
合計			281.94 m <sup>2</sup>	

階	居室面積
1階	45.94
2階	59.63
3階	59.63
合計	165.20 m <sup>2</sup> ≤ 200 m <sup>2</sup>

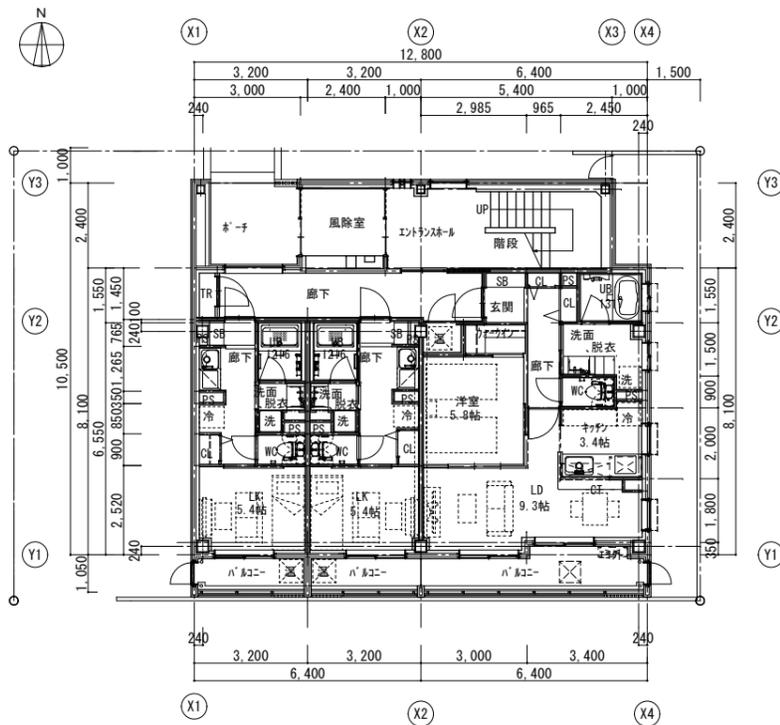




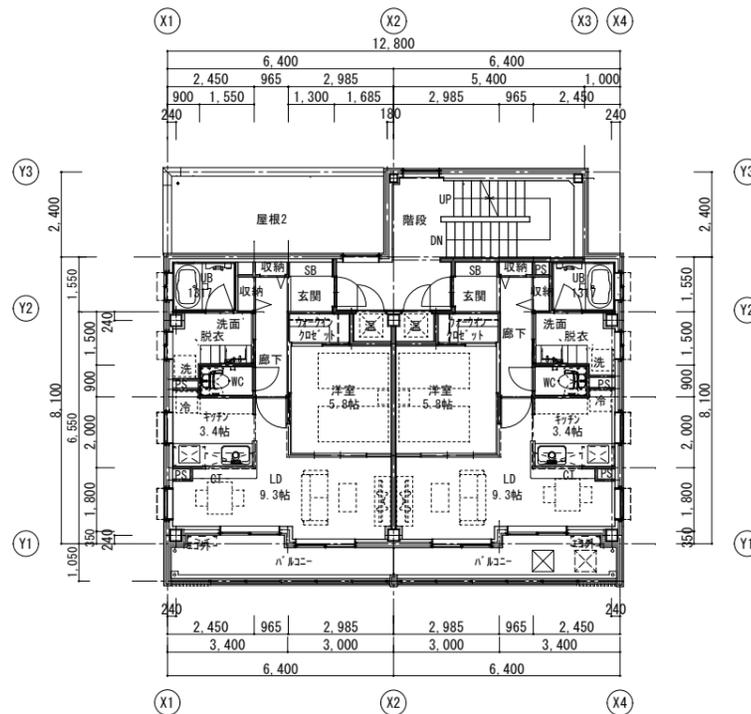
計画配置図 S=1/200



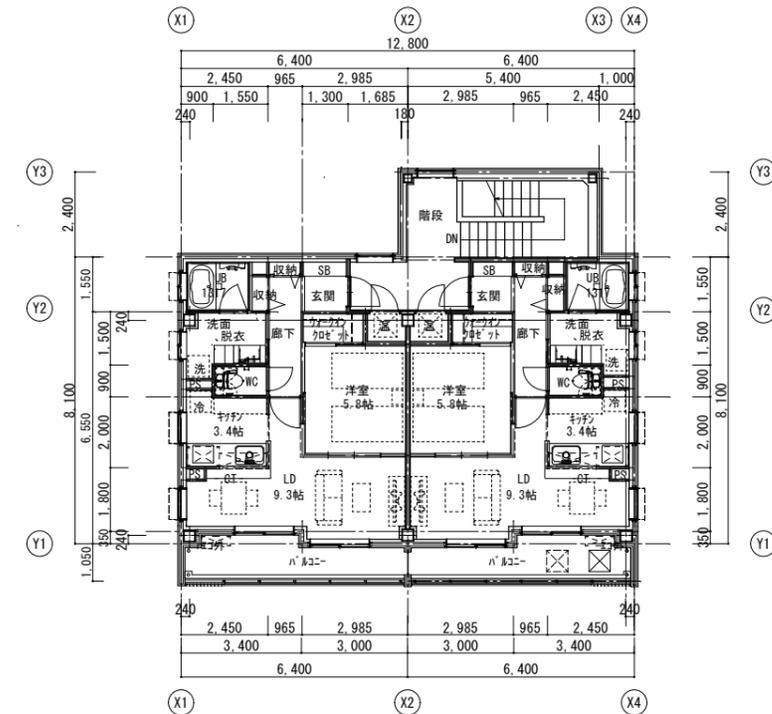
附近見取図



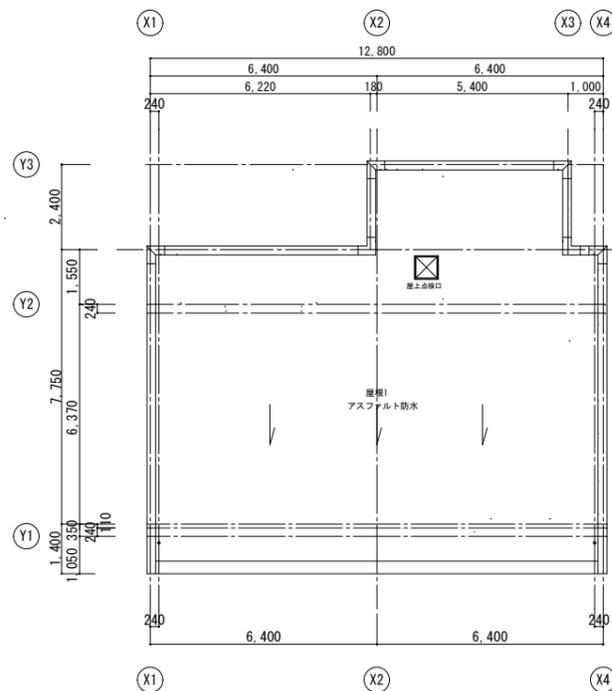
住戸2 1DK 21.31m <sup>2</sup> 6.44坪	1階平面図 1/100	住戸1 1LDK 47.74m <sup>2</sup> 14.44坪
--	-------------	--



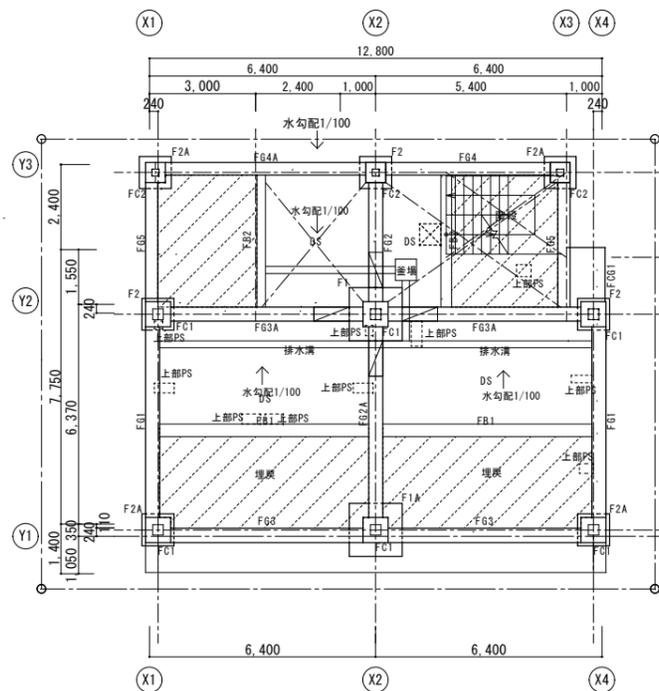
住戸1 1LDK 48.05m <sup>2</sup> 14.53坪	2階平面図 1/100	住戸1 1LDK 47.74m <sup>2</sup> 14.44坪
--	-------------	--



住戸1 1LDK 48.05m <sup>2</sup> 14.53坪	3階平面図 1/100	住戸1 1LDK 47.74m <sup>2</sup> 14.44坪
--	-------------	--

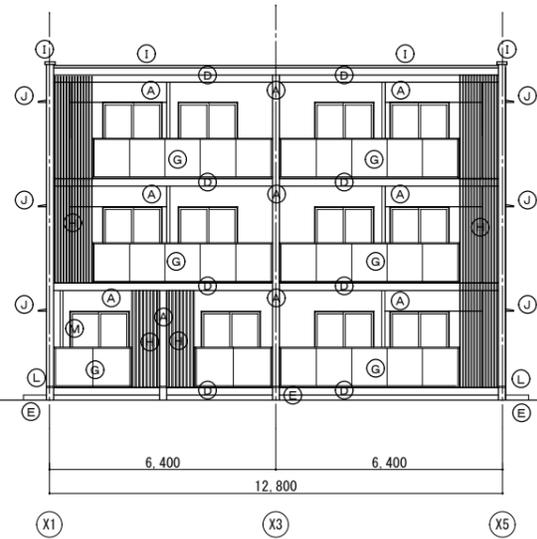


屋根平面図 1/100

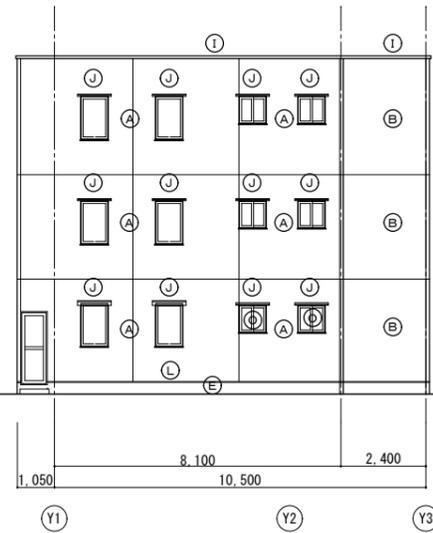


1階下平面図 1/100

凡例	
	床点検口600×600 梯子掛け用タラップ：19φステンレス 各点検口/1ヶ所
	連通管 塩ビφ150/2 上部通気管 塩ビφ100
	人通孔 1000×600
	排水溝 W200×D50
	釜場 W600×D600×H600
	ピット 床：根切土埋め戻し 壁：土に接する部 コンクリート打ち置き 天井：t25発泡ポリスチレンフォーム打ち込み
	埋め戻し部分 根切土



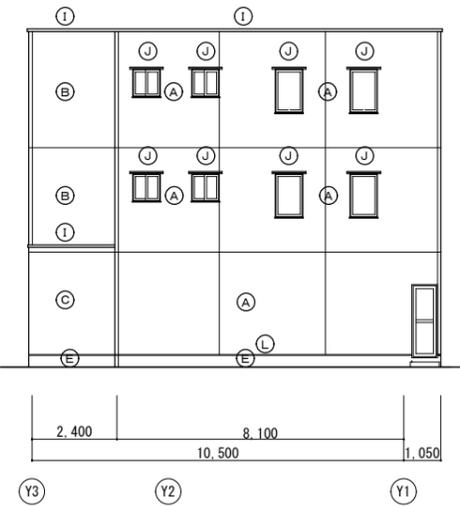
立面図 (南) 1/100



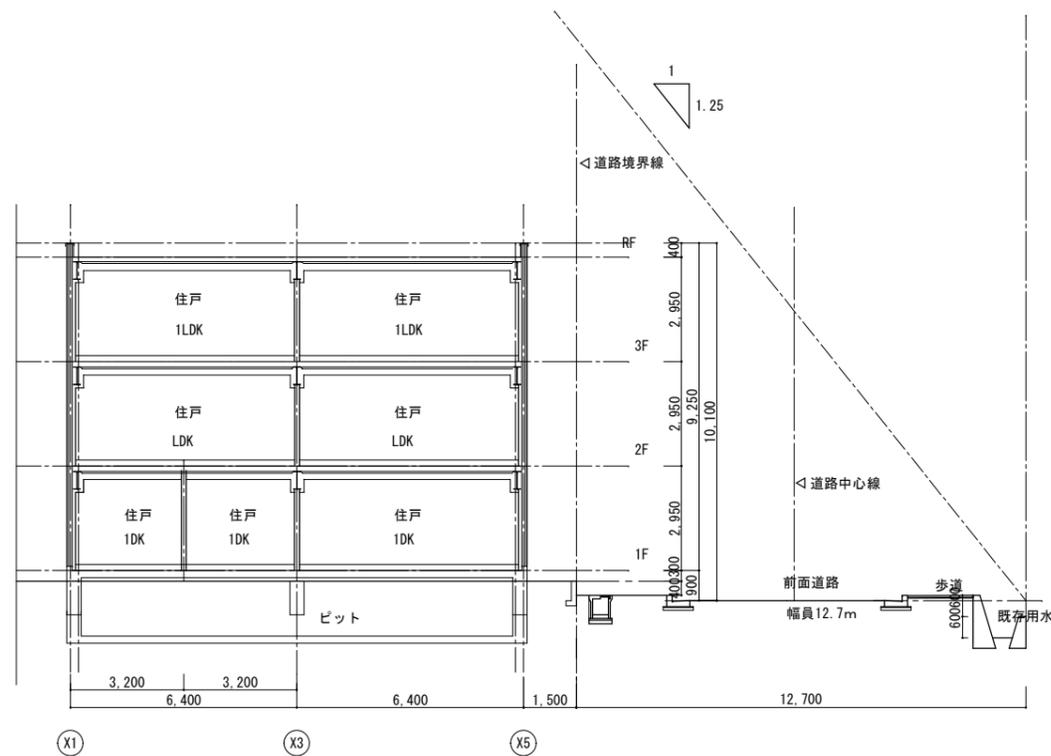
立面図 (東) 1/100



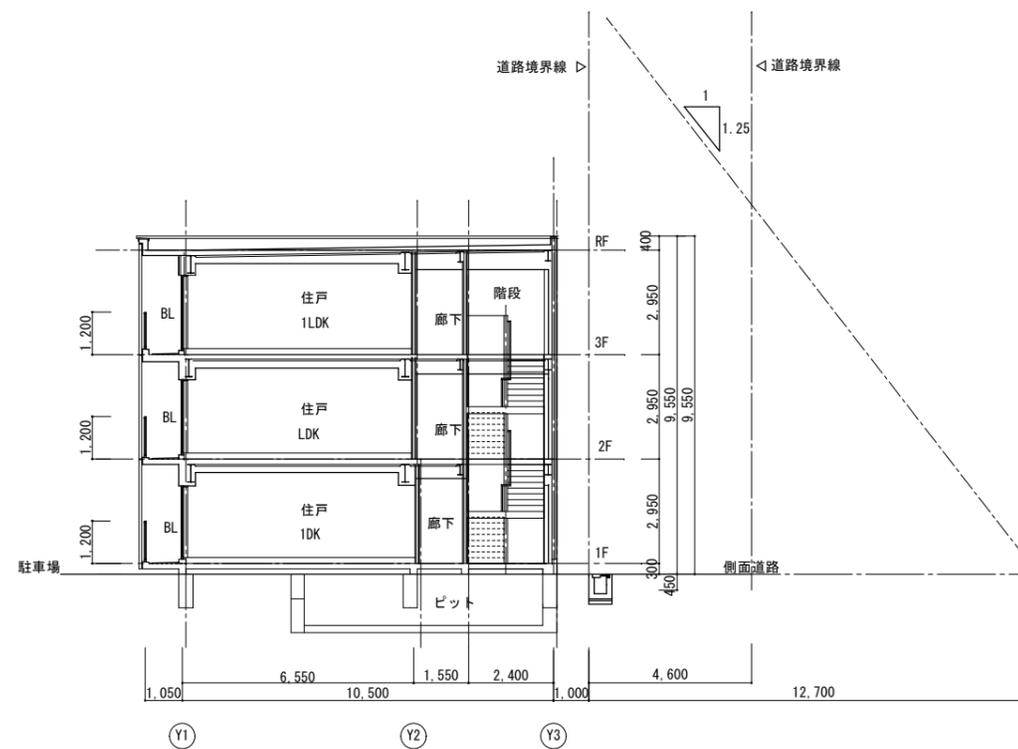
立面図 (北) 1/100



立面図 (西) 1/100

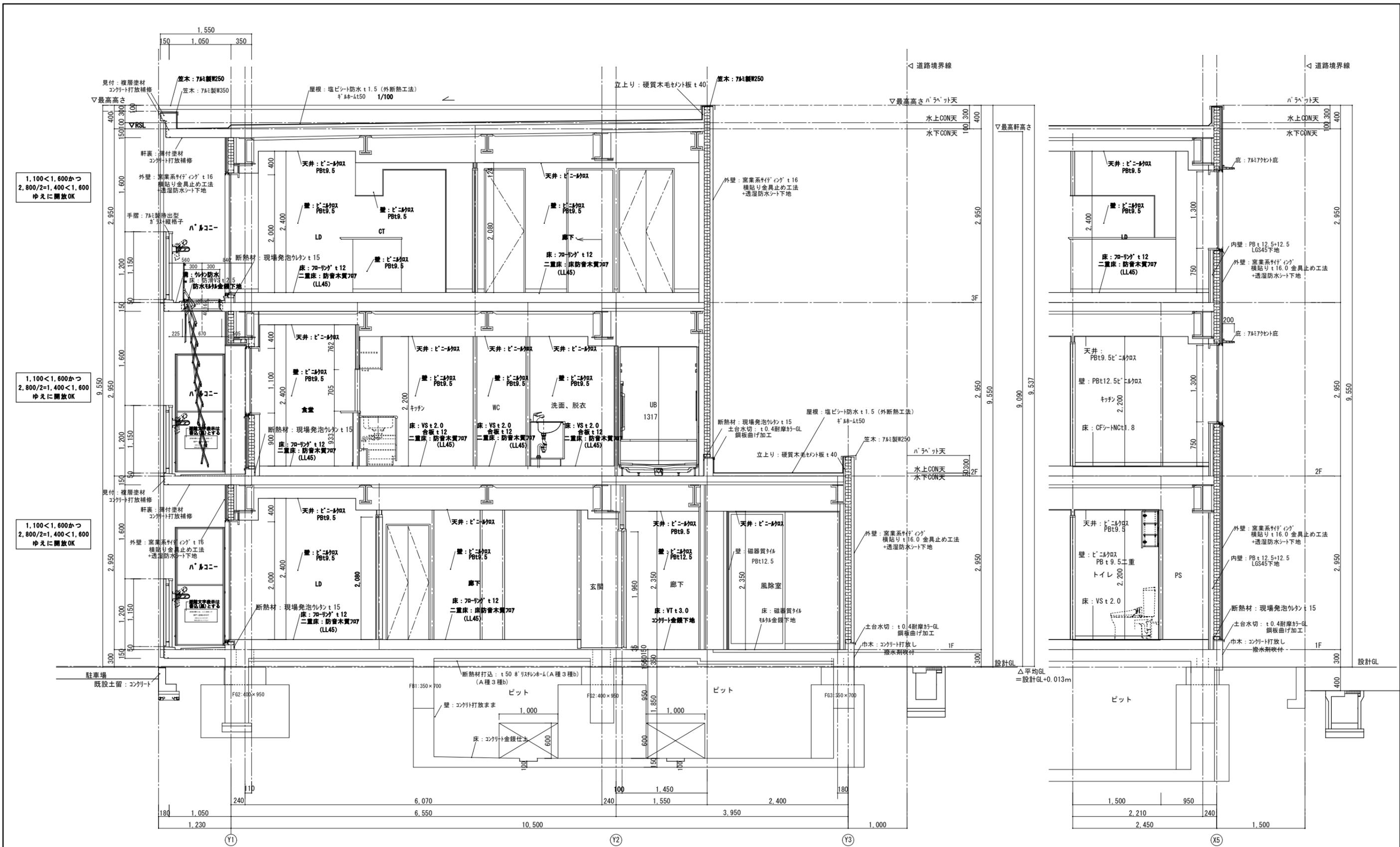


断面図 X1通り 1/100



断面図 Y3通り 1/100

Ⓐ	外壁：モルタル付 16A横貼り 金具止め工法 耐火野地板 t18+透湿防水シート下地 内壁：LGS50下地GB-F t12.5+t12.5張り	耐火野地板 t18+透湿防水シート下地 タタミ 同等品
Ⓑ	外壁：モルタル付 16B横貼り 金具止め工法 耐火野地板 t18+透湿防水シート下地 内壁：LGS50下地GB-F t12.5+t12.5張り	タタミ プレシマ 同等品
Ⓒ	外壁：モルタル付 16C横貼り 金具止め工法 耐火野地板 t18+透湿防水シート下地 内壁：LGS50下地GB-F t12.5+t12.5張り	タタミ 同等品
Ⓓ	バルコニー見付：コンクリート合板打放し 複層塗材	
Ⓔ	市木：コンクリート打放し 目地切シリング W15@3000撥水剤吹付	
Ⓕ	市木：樹脂左官材欄目塗り	
Ⓖ	7&#246;製持出型 合せガラス手摺	
Ⓗ	目隠し&#246;-n：7&#246;製&#246;-n-木目調 40&#226;60 @100	
Ⓘ	笠木：7&#246;製&#246;-n	
Ⓙ	庇：7&#246;製&#246;-n	
Ⓚ	見切り：7&#246;製&#246;-n	
Ⓛ	水切：t0.4耐摩カラー-G L鋼板曲げ加工	
Ⓜ	壁種：&#246;-VP75φ 摺り金物：SUS専用金物 @1,200以内	
Ⓝ	隔板：7&#246;製&#246;-n加板塗装 (文字入り)	
Ⓞ	7&#246;製格子	
Ⓟ	外壁A, B, C 1時間耐火仕様FP60NE-0194-2 (2)	



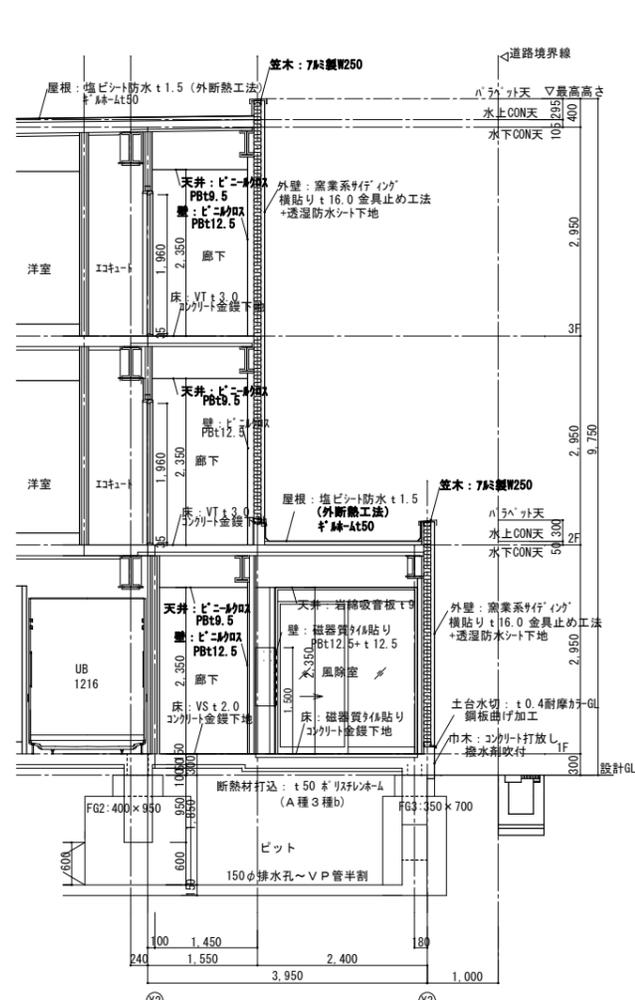
1,100<1,600かつ  
2,800/2=1,400<1,600  
ゆえに開放OK

1,100<1,600かつ  
2,800/2=1,400<1,600  
ゆえに開放OK

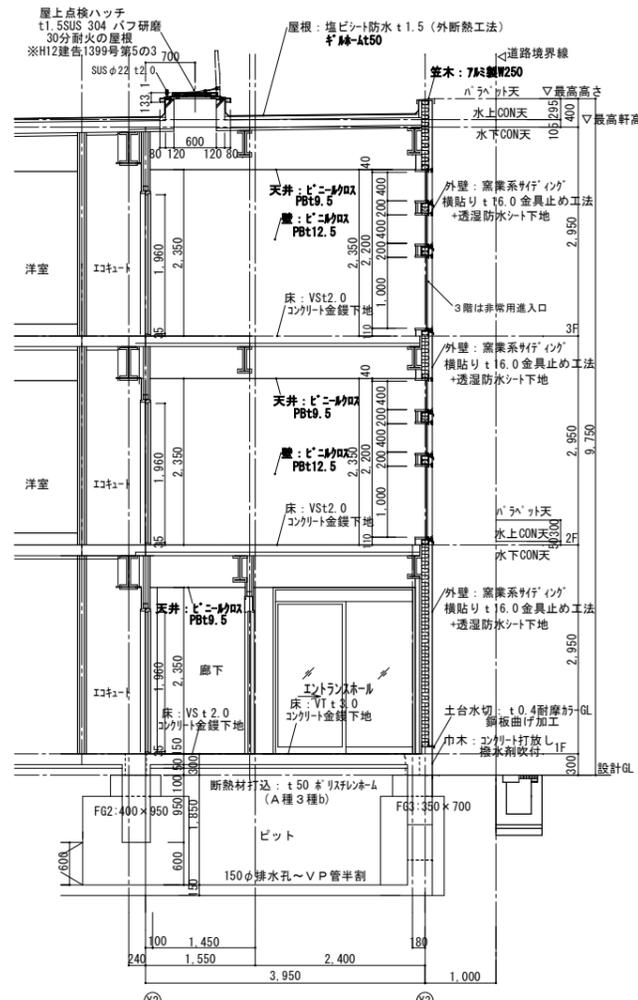
1,100<1,600かつ  
2,800/2=1,400<1,600  
ゆえに開放OK

矩計図 Y通り 1/30

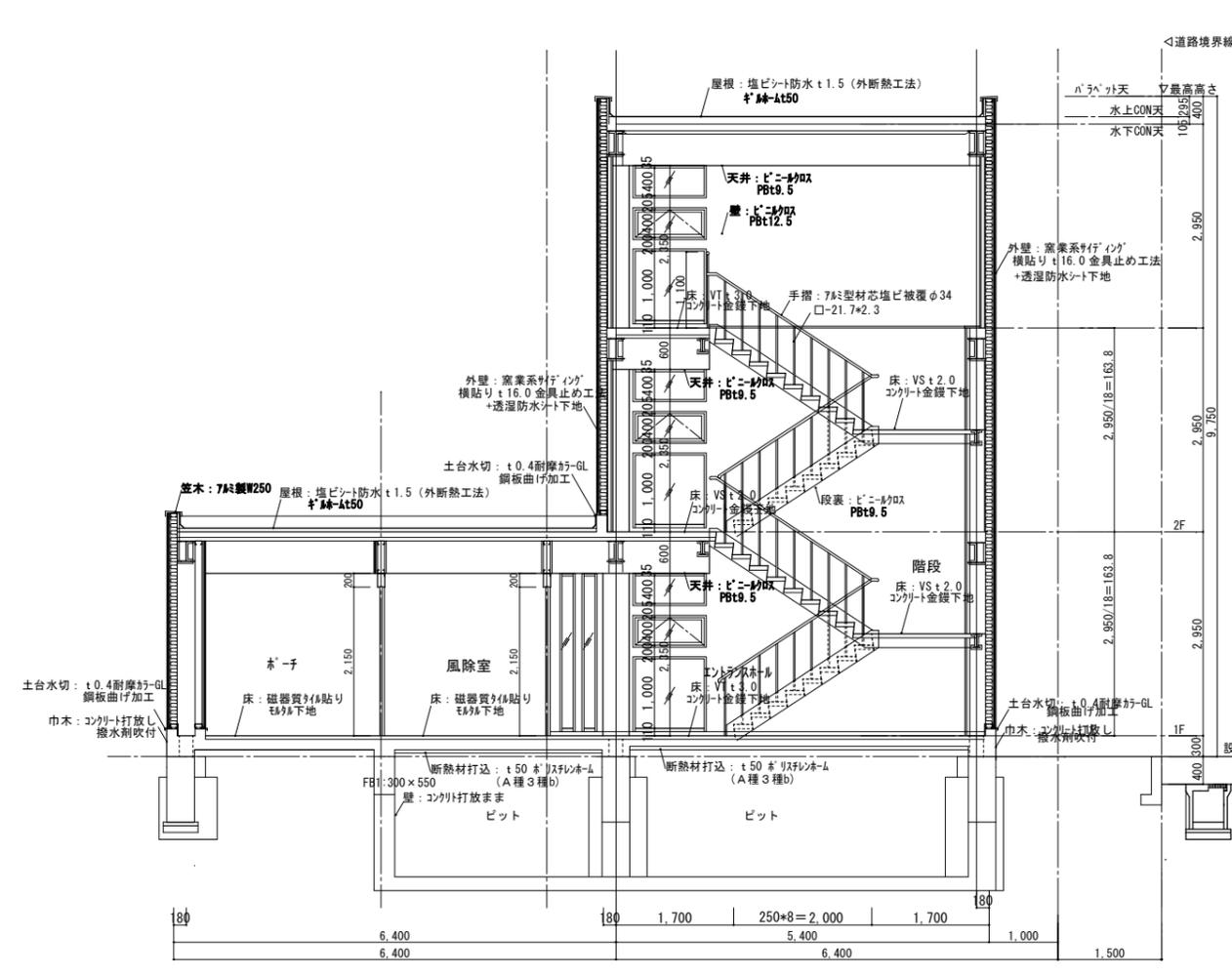
矩計図 X通り 1/30



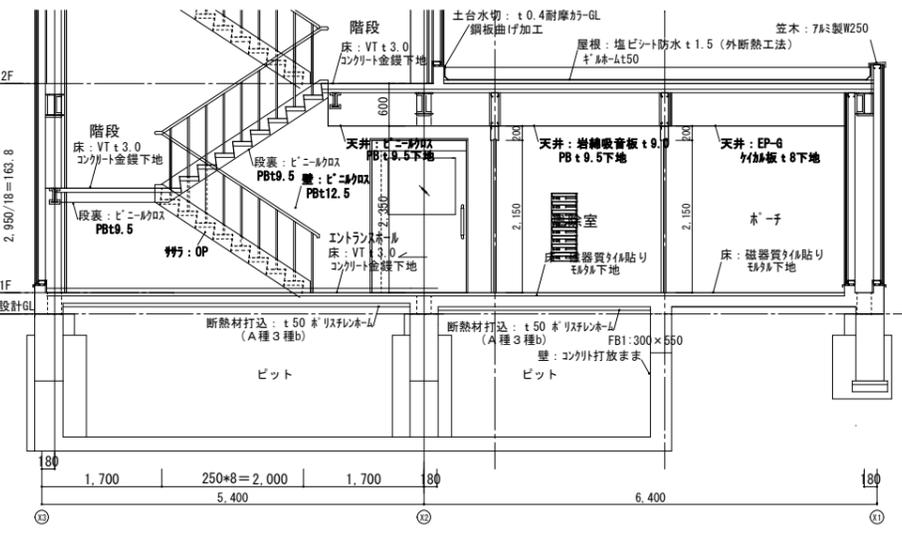
階段断面詳細図 Y通り 1/50



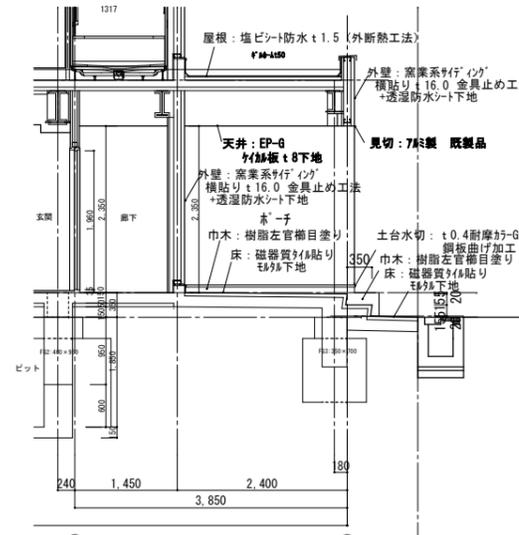
階段断面詳細図 Y通り 1/50



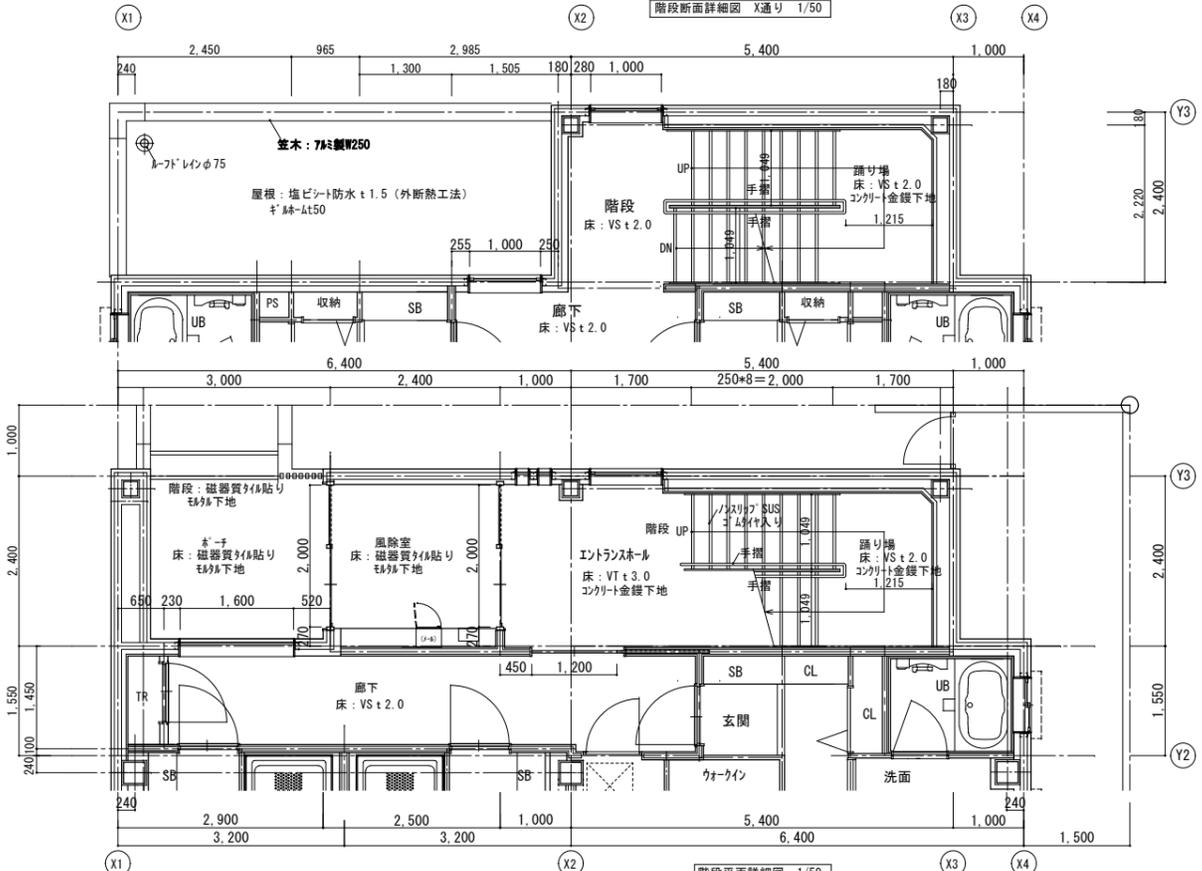
階段断面詳細図 X通り 1/50



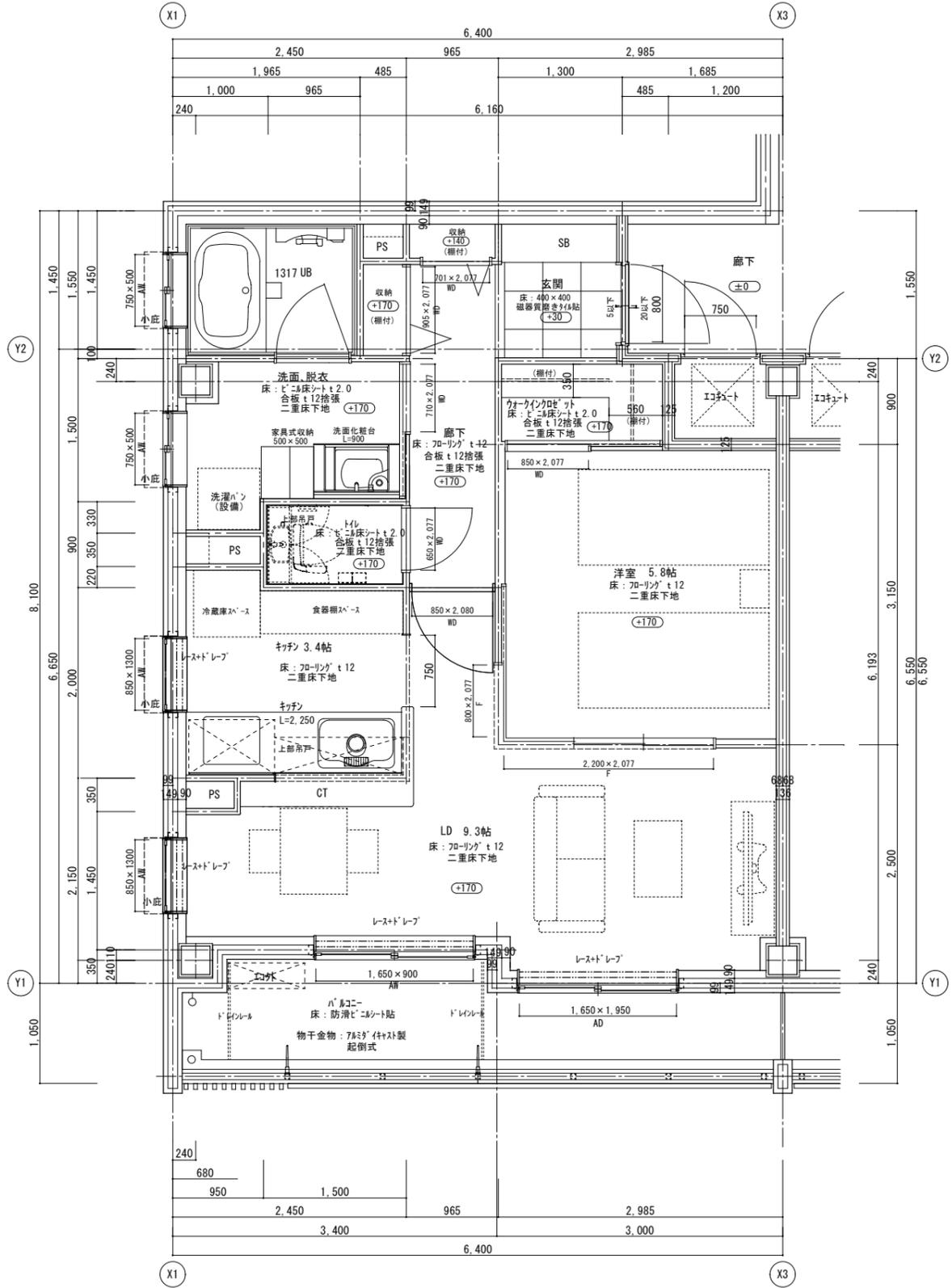
階段断面詳細図 X通り 1/50



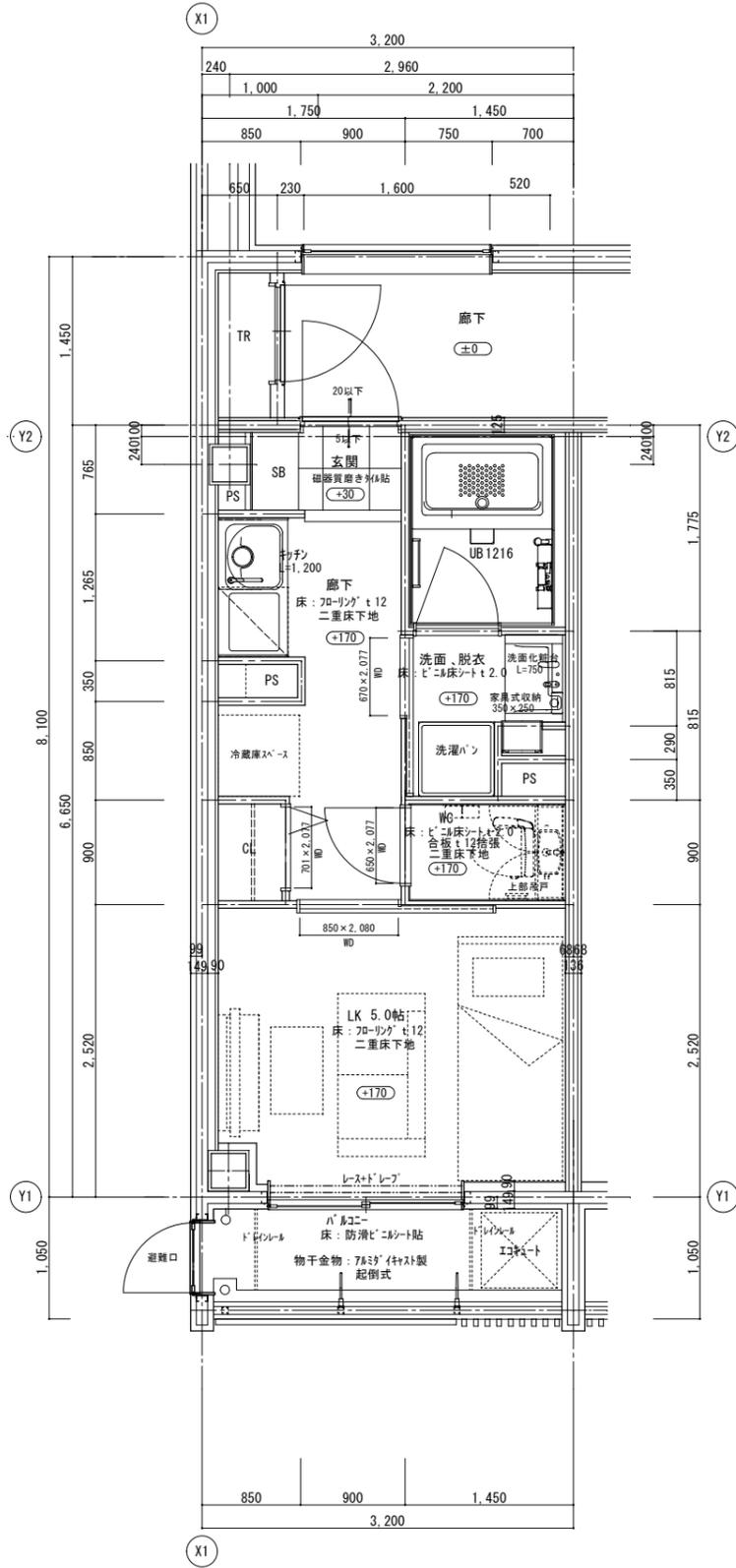
階段断面詳細図 X通り 1/50



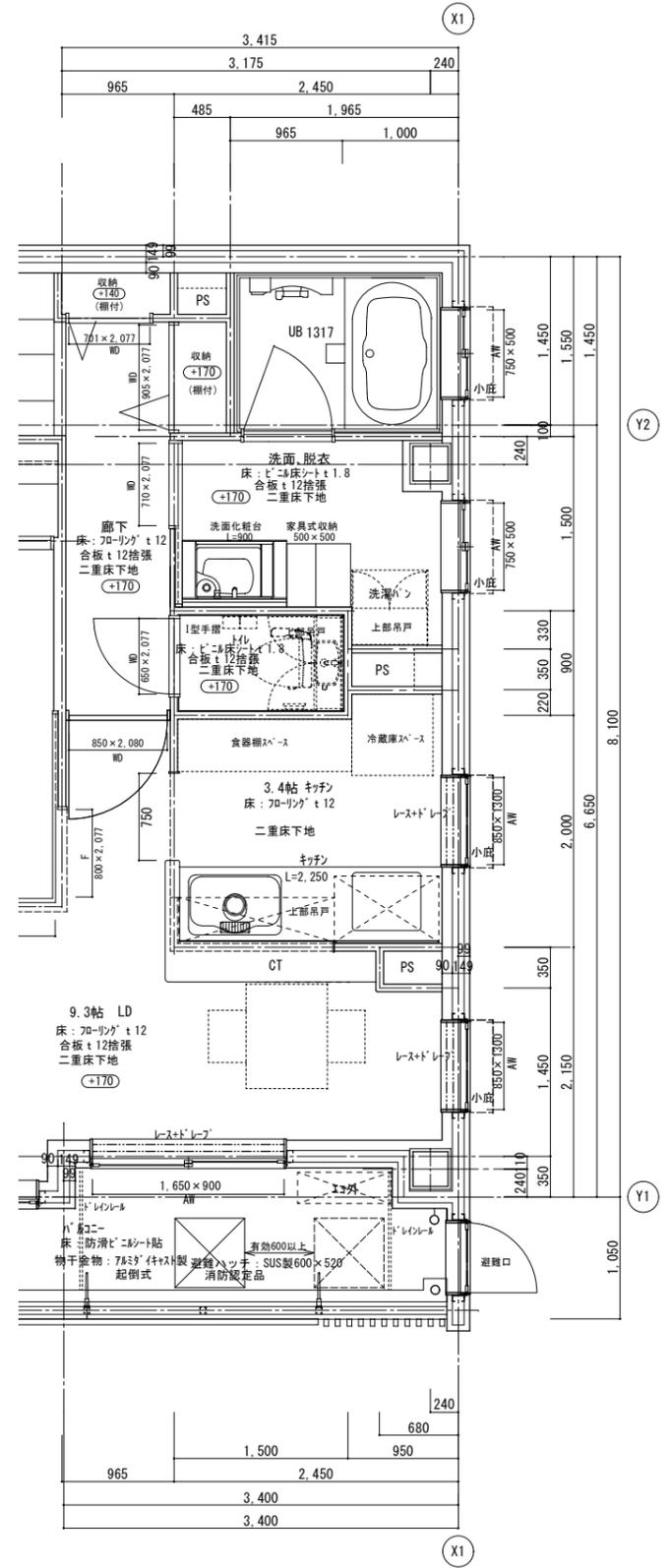
階段平面詳細図 1/50



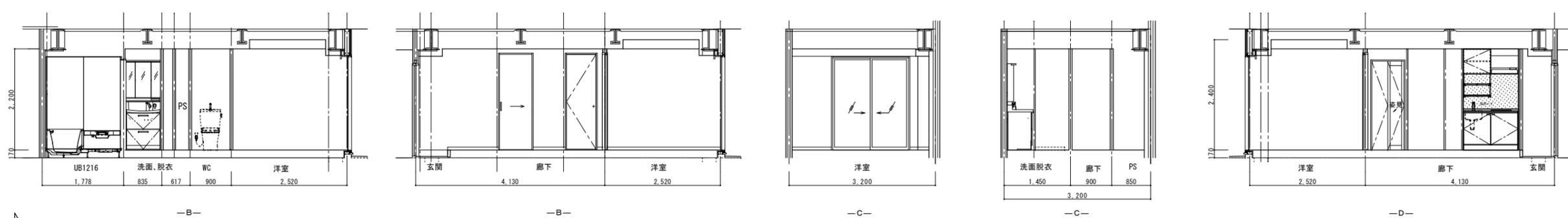
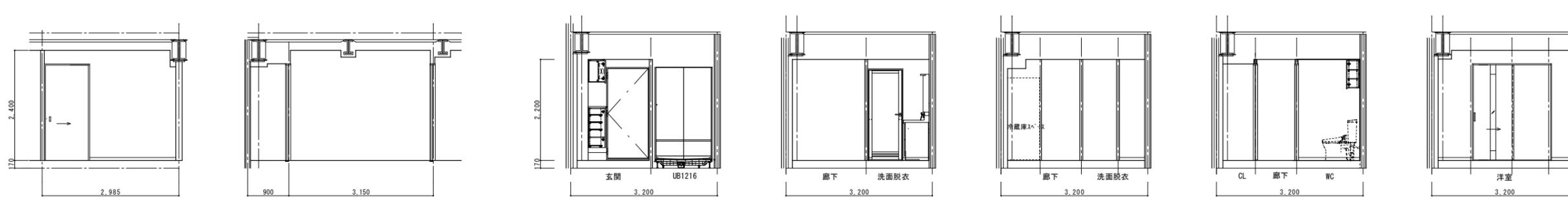
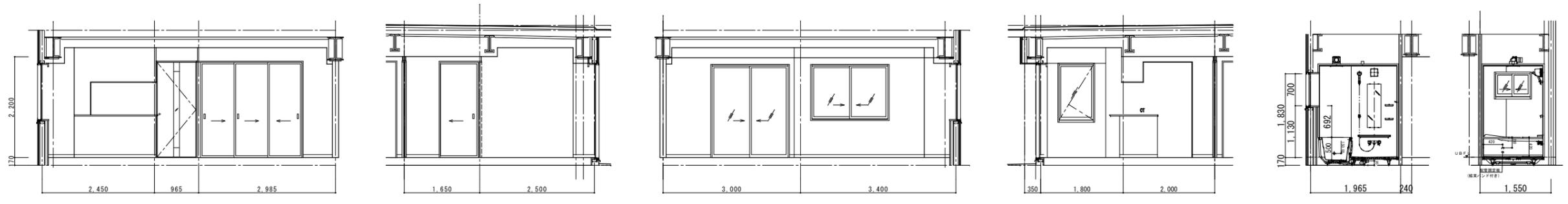
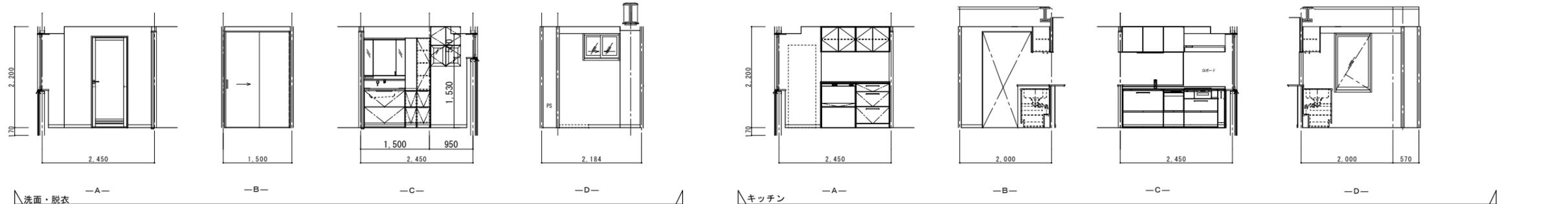
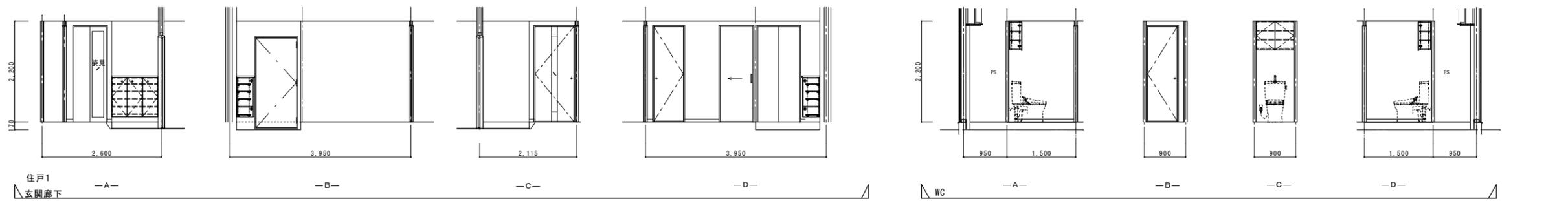
住戸1 平面詳細図 1/30



住戸2 1階平面詳細図 1/30



住戸1 1階平面詳細図 1/30



室名	玄関
床	磁器質タイル400角石調
巾木	御影石 t 20
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

室名	廊下
床	フローリング t 12 乾式二重床 コンクリート金網下地土間防塵塗料塗り
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

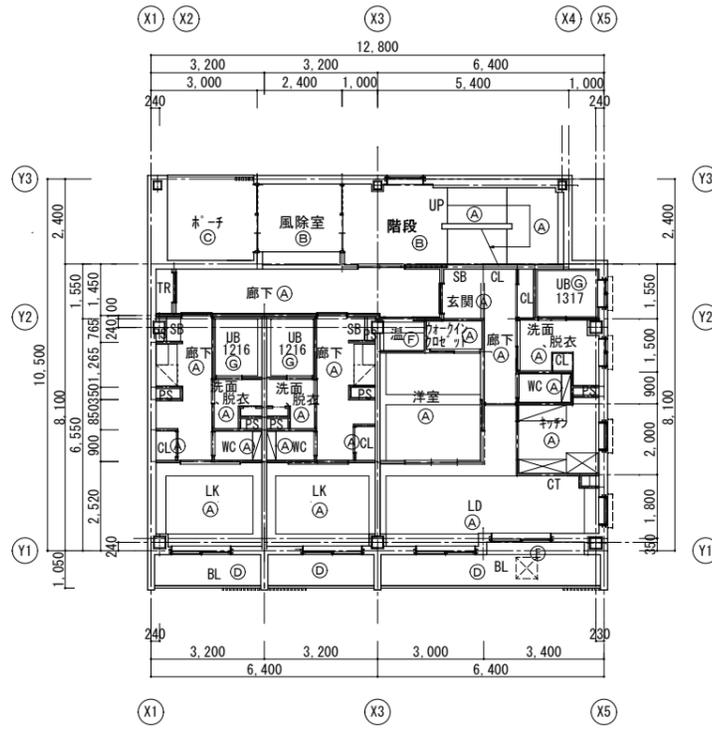
室名	WC
床	VS t 2.0 乾式二重床 コンクリート金網下地 土間防塵塗料塗り
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

室名	洗面、脱衣
床	VS t 2.0 乾式二重床 コンクリート金網下地 土間防塵塗料塗り
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

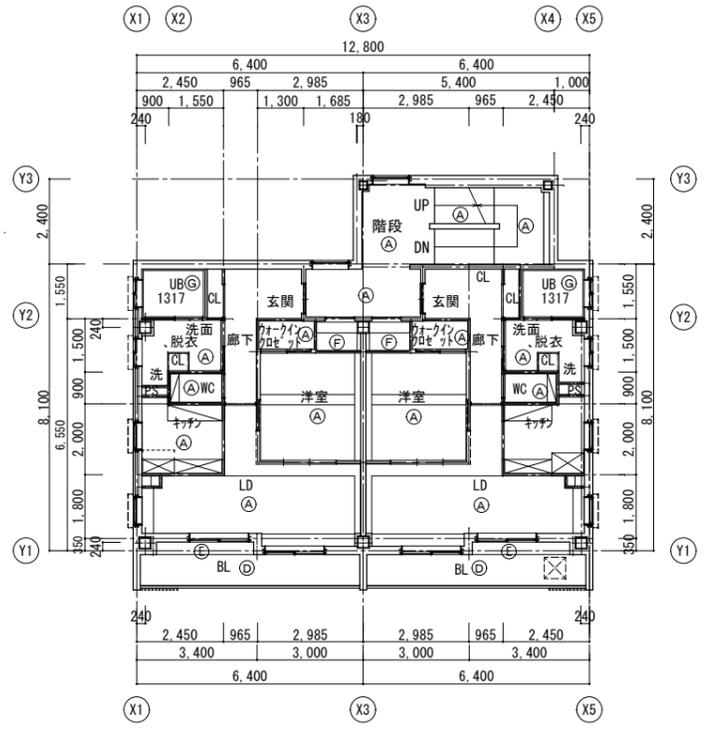
室名	キッチン
床	VS t 2.0 乾式二重床 コンクリート金網下地 土間防塵塗料塗り
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

室名	リビング・ダイニング
床	フローリング t 12 乾式二重床 コンクリート金網下地 土間防塵塗料塗り
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	V

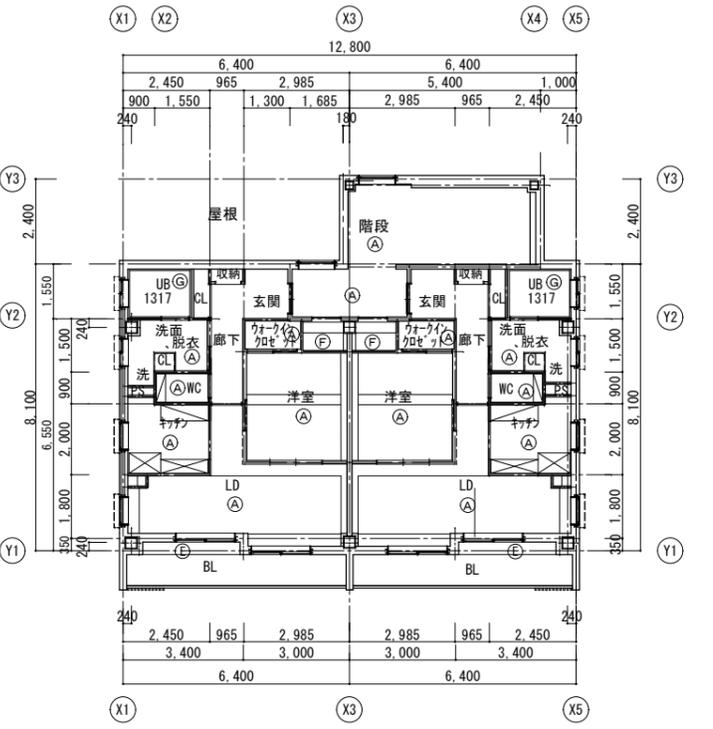
室名	洋室
床	フローリング t 12 乾式二重床 コンクリート金網下地
巾木	樹脂巾木
壁	ビニルクロス貼り
天井	ビニルクロス貼り
廻縁	



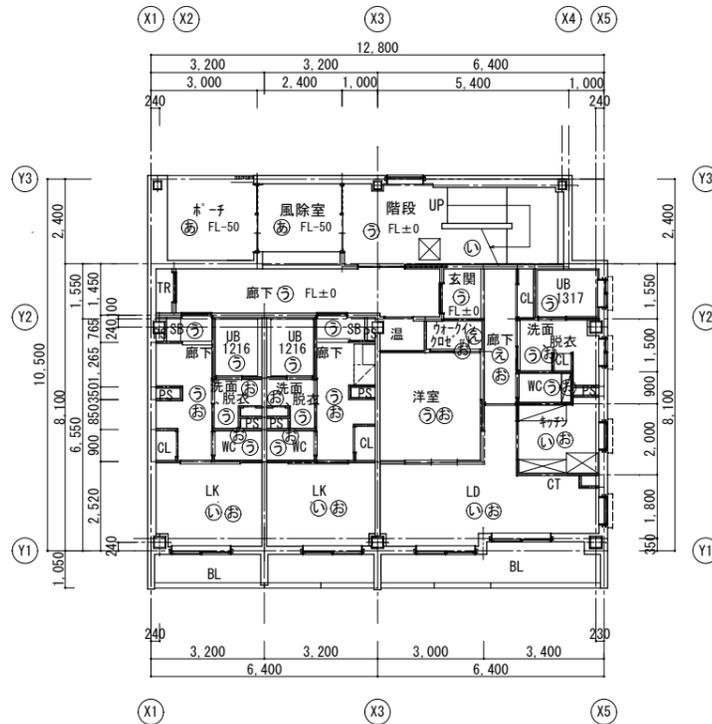
1階天井伏図 1/100



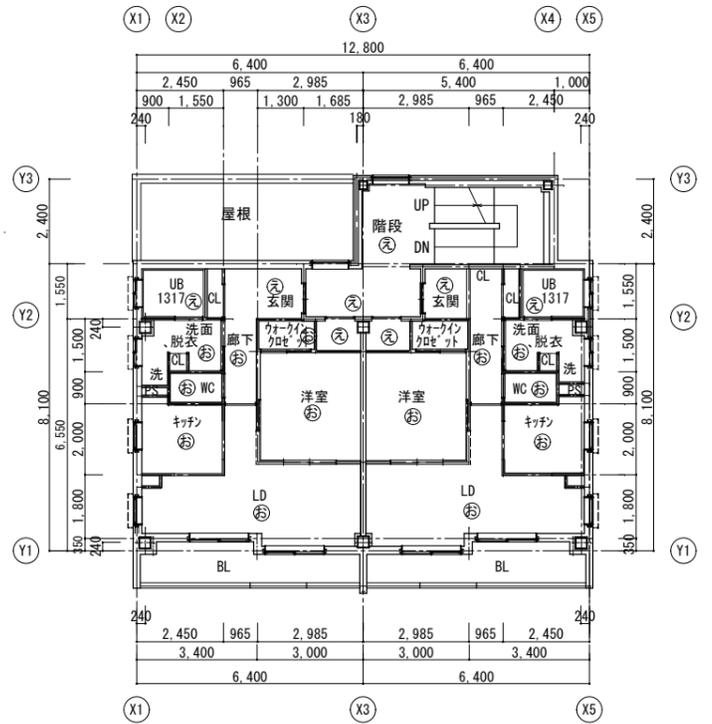
2階天井伏図 1/100



3階天井伏図 1/100



1階床伏図 1/100

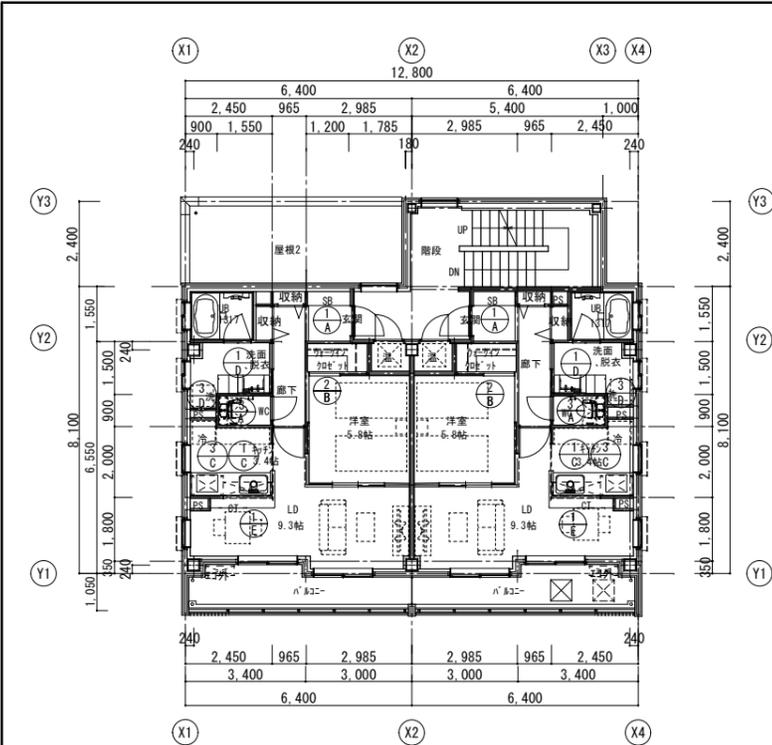


2、3階床伏図 1/100

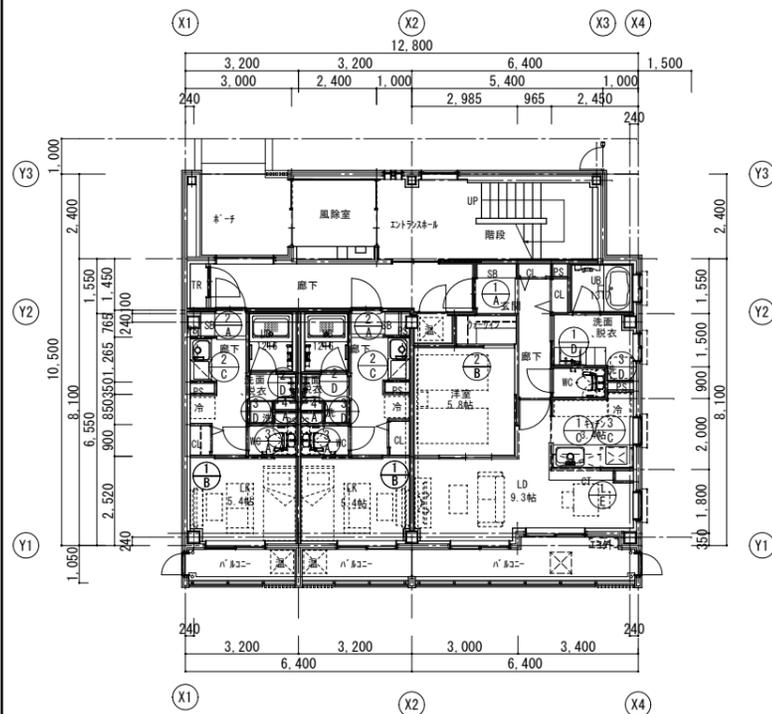
Ⓐ	L+PB t 12.5+不燃ビニルクロス 梁型：不燃PB t 9.5下地 (LGS下地)
Ⓑ	L+PB t 9.5+岩綿吸音板 t 9.0
Ⓒ	L+ケイ酸カルシウム板 t 8 GEP V目地
Ⓓ	コンクリート打放し 薄付塗材
Ⓔ	モルタル t 16 A横張り 金具止め工法 透湿防水シート t 0.17
Ⓕ	耐火被覆表し
Ⓖ	FRP製パネル
Ⓗ	見切り：7&#246;製型材
Ⓘ	避難タラップ
Ⓛ	ビクチャーレール
Ⓜ	カーボックス 杉上小節 WP塗装
☒	天井点検口：7&#246;製450&#246;450 (目地付イ) 6ヶ所 取付位置は設備と協議

凡例	内容
☒	床下点検口 (上部) 600角SUS目地 SUSφ19&#246;7 3段
Ⓖ	床：コンクリート金網 土間：埋戻し部分 根切り良質土 t 50発泡ポリスチレン敷込み t 0.15防湿シート
Ⓛ	床：コンクリート金網 土間：埋戻し部分 根切り良質土 t 50発泡ポリスチレン敷込み t 0.15防湿シート
Ⓢ	床：コンクリート金網 t 50発泡ポリスチレン敷込み 下部ビット
Ⓜ	床：コンクリート金網+仕上げ
Ⓜ	床：コンクリート金網+二重床+仕上げ





2,3階家具符号図 1/100



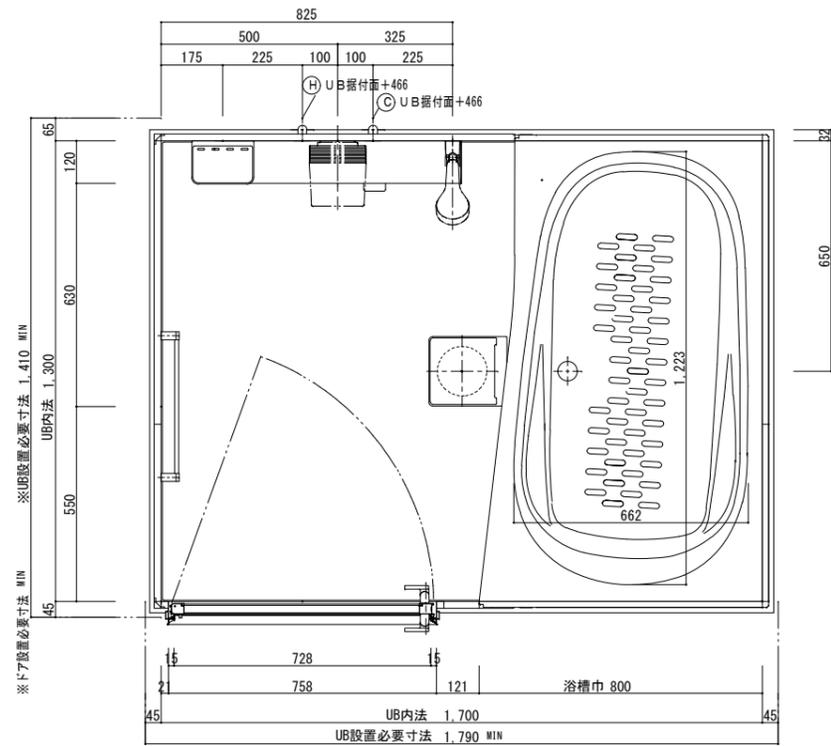
1階家具符号図 1/100

共通事項

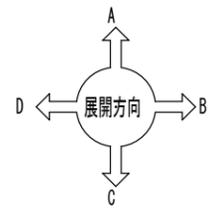
- ・ 木リ合板 F1: 他社メーカー等品
- ・ マリニ化粧板 F1: 他社メーカー等品
- ・ 木スチロール F1: 他社メーカー等品

記号	数量	名称	5	下足棚	玄関	2	2	下足棚	玄関	3	7	吊戸棚	WC	4	2	棚	洗面、脱衣
仕上・材料			MDF化粧シート			MDF化粧シート				MDF化粧シート				MDF化粧シート			
建具			ハンガーパイプ×2			ハンガーパイプ×2				ハンガーパイプ×2				ハンガーパイプ×2			
金物																	
備考			大建 内部ユニット同等			大建 内部ユニット同等				大建 内部ユニット同等				大建 内部ユニット同等			
形状																	
記号	数量	名称	2	収納ユニット	CL	5	5	収納ユニット	CL	3	5	収納ユニット	廊下	4	5	収納ユニット	廊下
仕上・材料			MDF化粧シート			MDF化粧シート				MDF化粧シート				MDF化粧シート			
建具			ハンガーパイプ×2			ハンガーパイプ×2				ハンガーパイプ×2				ハンガーパイプ×2			
金物																	
備考			大建 内部ユニット同等			大建 内部ユニット同等				大建 内部ユニット同等				大建 内部ユニット同等			
形状																	
記号	数量	名称	1	流し台	キッチン	2	2	流し台	キッチン	3	5	食器棚	キッチン				
仕上・材料			システムキッチン(リッパ) カクコフォート同等品			ミニキッチン(リッパ) コフ(Sリッパ)同等品				食器棚(リッパ) カクコフォート同等品							
建具			天板:ステンレス サイレントク 取手:747(調子) 壁パネル:CAK-ド オウチグラウ			天板:ステンレス サイレントク 取手:コンパケグレ 壁パネル:CAK-ド オウチグラウ				天板:ステンレス ストームカク 棚板:ボリ合板フラッシュ							
金物			引出し:サイルトル 吊戸:H600 開放防止部材:77(ネット) 74(リ)			引出し:サイルトル 吊戸:H600 開放防止部材:77(ネット) 74(リ)				メラミン化粧板フラッシュ 引出し付属金物一式 スライド 丁番、ブッシュ取手							
備考			調理器:2口IHコンロ(2口) インター、グリル、食器洗浄乾燥機、手元照明:LED			調理器:1口IHコンロ、レンジヒーター				ガラス							
形状																	
記号	数量	名称	5	洗面化粧台	洗面、脱衣	2	2	洗面化粧台	洗面、脱衣	3	7	吊戸	洗面、脱衣	4	5	カウンター	キッチン
仕上・材料			洗面化粧台(リッパ) エスリス同等品			洗面化粧台(リッパ) ファンタジー同等品				吊戸(リッパ) ファンタジー同等品				メラミンフリーエッジカウンター			
建具			人工大理石パネル			人工大理石パネル											
金物			引出し:オスライド(サイルトル)			引出し:オスライド(サイルトル)											
備考			ミラーネット:三面鏡 照明:LED トルキネット トルキネット(片面収納タイプ)			ミラーネット:三面鏡 照明:LED トルキネット トルキネット(片面収納タイプ)				ミラーネット ネット ウォルネット							
形状																	
形状																	
														B-B断面詳細図			C-C断面詳細図

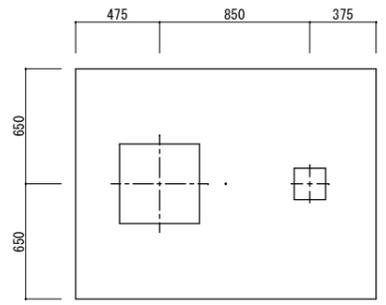
RWV1317UM		コロガシ	*は、基本仕様からの変更箇所	
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式) 点検口φ450 (絞り点検口・落下防止用紐付・石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
* 壁パネル	HQパネル	アラゴナホワイト		EGAA2
* 床パネル	お掃除ラクラクほっかり床	ライトグレー		CFS72
ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト	(付枠用取付ネジUB支給、 ネジ取付および付枠別途)	
ドアパネル	開き戸 (スッキリア) 換気口開閉式 W=800 (有効開口幅 704mm) H=2000 面材: 型板ステンレ钢板	ホワイト		
ドアロック	プッシュプルハンドル	ホワイト		
ドアストッパー	コンシールドストッパー			
* 浴槽	ゆるり浴槽 FRPバス 追焚用 φ50開口 ゴム栓 断熱防水パン付	ホワイト エプロン: ホワイト		YAB01
* 追焚用リモコン加工	リモコン取付用補強木 W225×H100×T9 (同梱)			YRA00
* ふろふた	シャッター式ふろふた	ホワイト		YPFNN
* スマートカウンター	樹脂製	ホワイト		TKB5W
洗い場水栓	TBV03432J 壁付サーモスタットシャワー金具 (スパウトレス)			
* シャワーヘッド	コンフォートウエーブシャワー ホース: L=1600	ヘッド: メタル調 ホース: シルバー	(現場加工)	SAGBA
* シャワーハンガー	THC51E 上段: 角度調整式シャワーハンガー 下段: 固定式シャワーハンガー	メタル調	(現場加工)	SAGBA
* 照明	キューブ形ハイクオリティ照明 (LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVVF1.6φ×2C L=2.0m付		(以降接続別途)	KSKE1 TKB5W
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途)	
* 換気扇	AC100V 消費電力:10/12W (50/60HZ) カバー (抗菌・防カビ仕様)		(以降接続別途)	IKJC5
給水エルボ	洗い場用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ	洗い場用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー・封水筒 (抗菌・防カビ仕様) 浴槽側逆流防止機構付		(以降接続別途)	
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400	座: ホワイト		
* 収納棚	収納棚 W175 樹脂製 2個	ホワイト		ESE2L
* 鏡	お掃除ラクラク鏡 縦長ミラー ツメ式 W298×H950			KUR81
* 窓枠	フリーサイズ窓枠 最大内寸 D200XW740X500 (シリコン同梱)	窓枠: ホワイト シリコン: ホワイト	(同梱)	VML2W



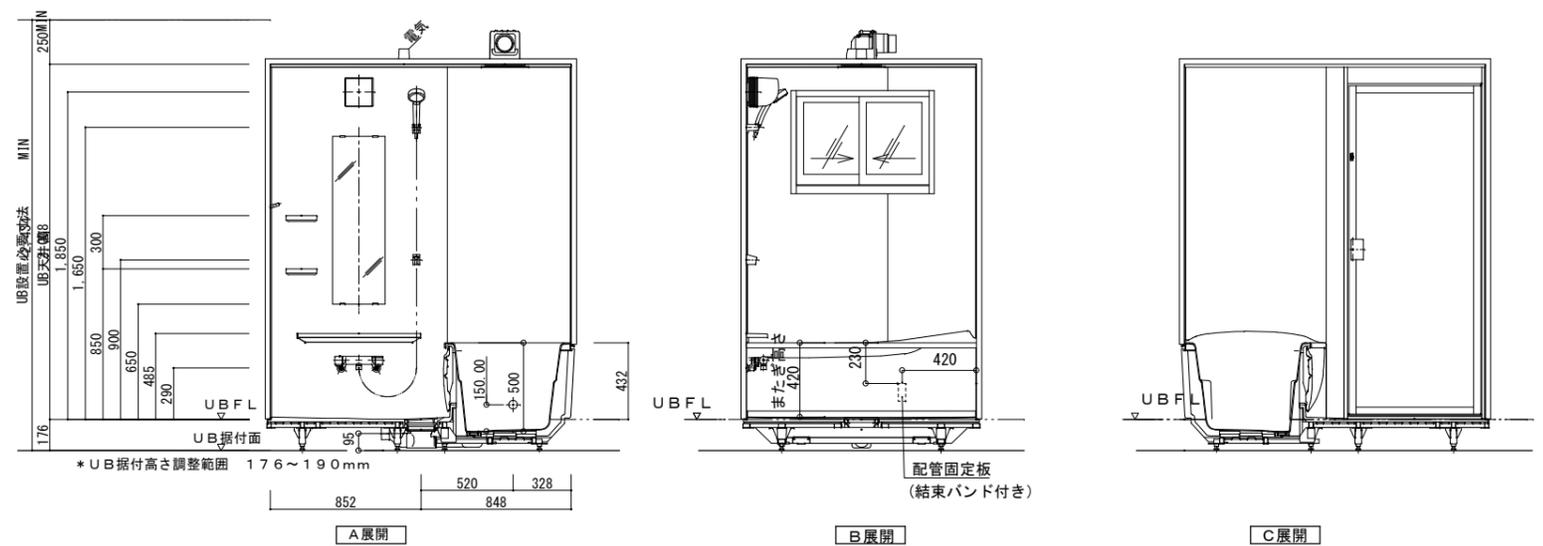
※UB設置必要寸法に  
ドア設置必要寸法は含んでいません。  
ドア納まりについての詳細は必ず  
矩計図をご確認ください。



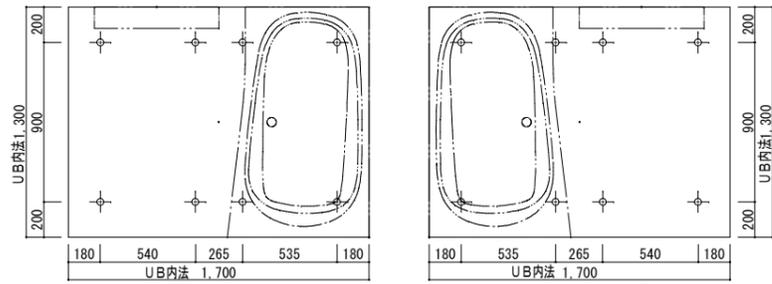
\*注) 設備排水管が耐火被覆二層管の場合は、「耐火被覆二層管対応床セレクト」を必ず選択ください。  
(排水管セレクトを選択した場合は、不要です。)



天井伏図 1/20

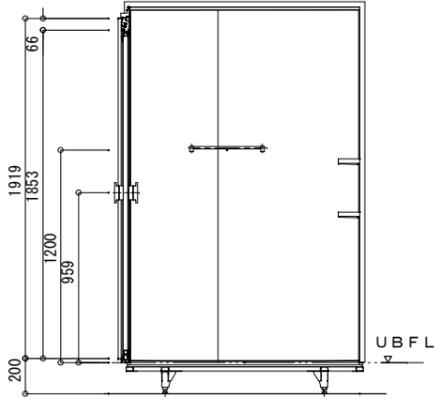


\* UB据付高さ調整範囲 176~190mm



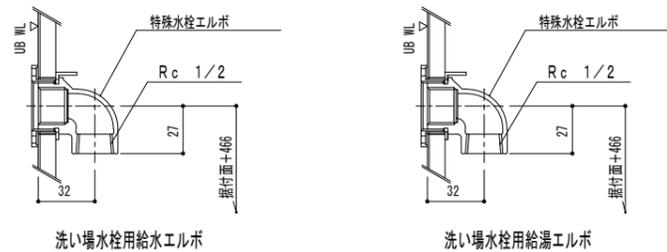
ドア位置C、Dタイプ  
ドア位置A、Bタイプ

床支持位置図



D展開

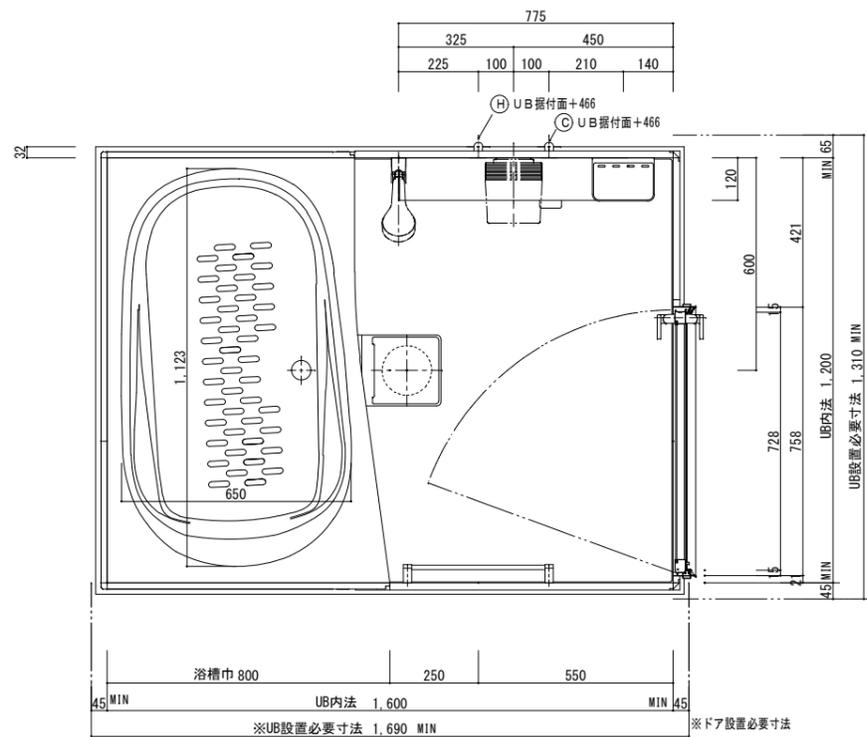
★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。



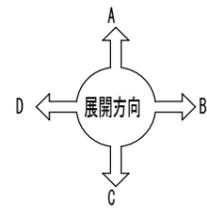
洗い場水栓用給水エルボ

洗い場水栓用給湯エルボ

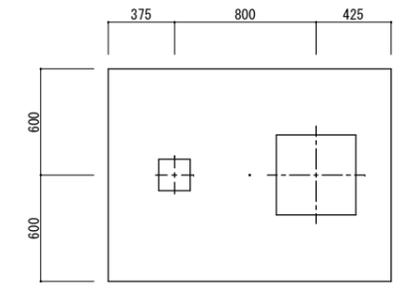
RWV1216UM		コロガシ *は、基本仕様からの変更箇所		
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式) 点検口φ450 (絞り点検口・落下防止用紐付石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ブリエホワイト		
* 正面アクセントパネル	HQパネル	カルムグレーウッド		EGHH2
* 床パネル	お掃除ラクラクほっकारリ床	ベージュ		CFS73
ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト	(付枠用取付ネジUB支給 ネジ取付および付枠別途)	
ドアパネル	開き戸 (スッキリドア) 換気口開閉式 W=800 (有効開口幅 704mm) H=2000 面材: 型板ステンレ板	ホワイト		
ドアロック	プッシュプルハンドル	ホワイト		
ドアストッパー	コンシールドストッパー			
* 浴槽	ゆるり浴槽 FRPバス 追焚用 φ50開口 ゴム栓 断熱防水バン付	ホワイト エプロン: ホワイト		YAB01
* 追焚用リモコン加工	リモコン取付用補強木 W225×H100×T9 (同梱)			YRA00
* ふろふた	シャッター式ふろふた	ホワイト		YPFNN
* スマートカウンター	樹脂製	ホワイト		TKB5W
洗い場水栓	TBV03432J 壁付サーモスタットシャワー金具 (スパウトレス)			
* シャワーヘッド	コンフォートウエーブシャワー ホース: L=1600	ヘッド: メタル調 ホース: シルバー	(現場加工)	SAGBA
* シャワーハンガー	THC51E 上段: 角度調整式シャワーハンガー 下段: 固定式シャワーハンガー	メタル調	(現場加工)	SAGBA
* 照明	キューブ形ハイクオリティ照明 (LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVVF1.6φ×2C L=2.0m付		(以降接続別途)	KSKE1 TKB5W
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスまでの配線及びジョイントボックス内の結線別途)	
* 換気扇	AC100V 消費電力:10/12W (50/60HZ) カバー (抗菌・防カビ仕様)		(以降接続別途)	IKJC5
給水エルボ	洗い場用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ	洗い場用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー、封水筒 (抗菌、防カビ仕様) 浴槽側逆流防止機構付		(以降接続別途)	
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400	座: ホワイト		
* 収納棚	収納棚 W175 樹脂製 2個	ホワイト		ESE2L
* 鏡	お掃除ラクラク鏡 縦長ミラー ツメ式 W298×H950			KUR81



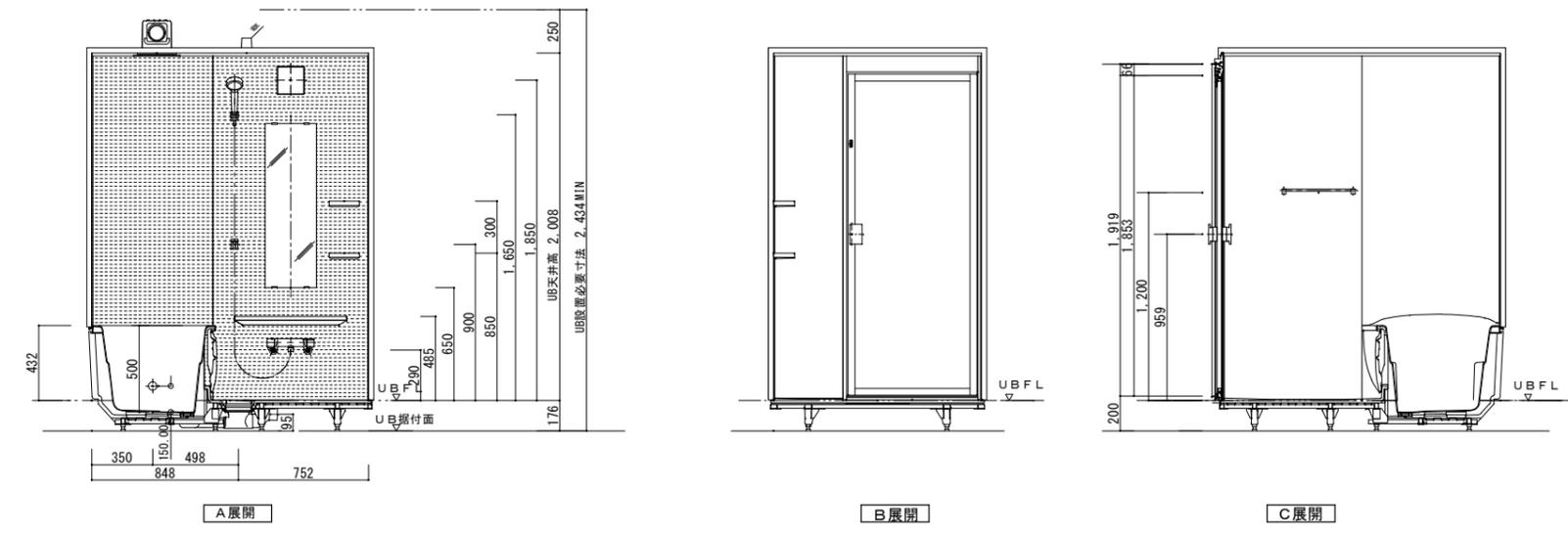
※UB設置必要寸法に  
ドア設置必要寸法は含んでいません。  
ドア納まりについての詳細は必ず  
矩計図をご確認ください。



\*注) 設備排水管が耐火被覆二層管の場合は、「耐火被覆二層管対応床セレクト」を必ず選択ください。  
(排水管セレクトを選択した場合は、不要です。)



天井伏図 1/20

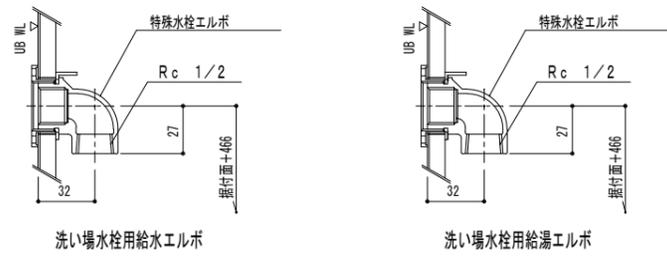


A展開

B展開

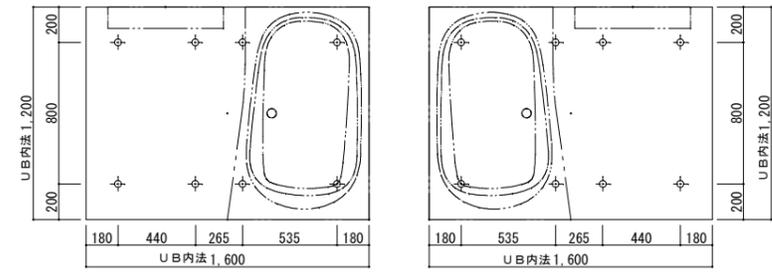
C展開

★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。



洗い場水栓用給水エルボ

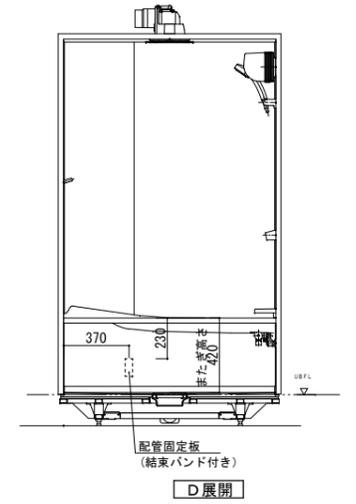
洗い場水栓用給湯エルボ



ドア位置C、Dタイプ

ドア位置A、Bタイプ

床支持位置図



D展開

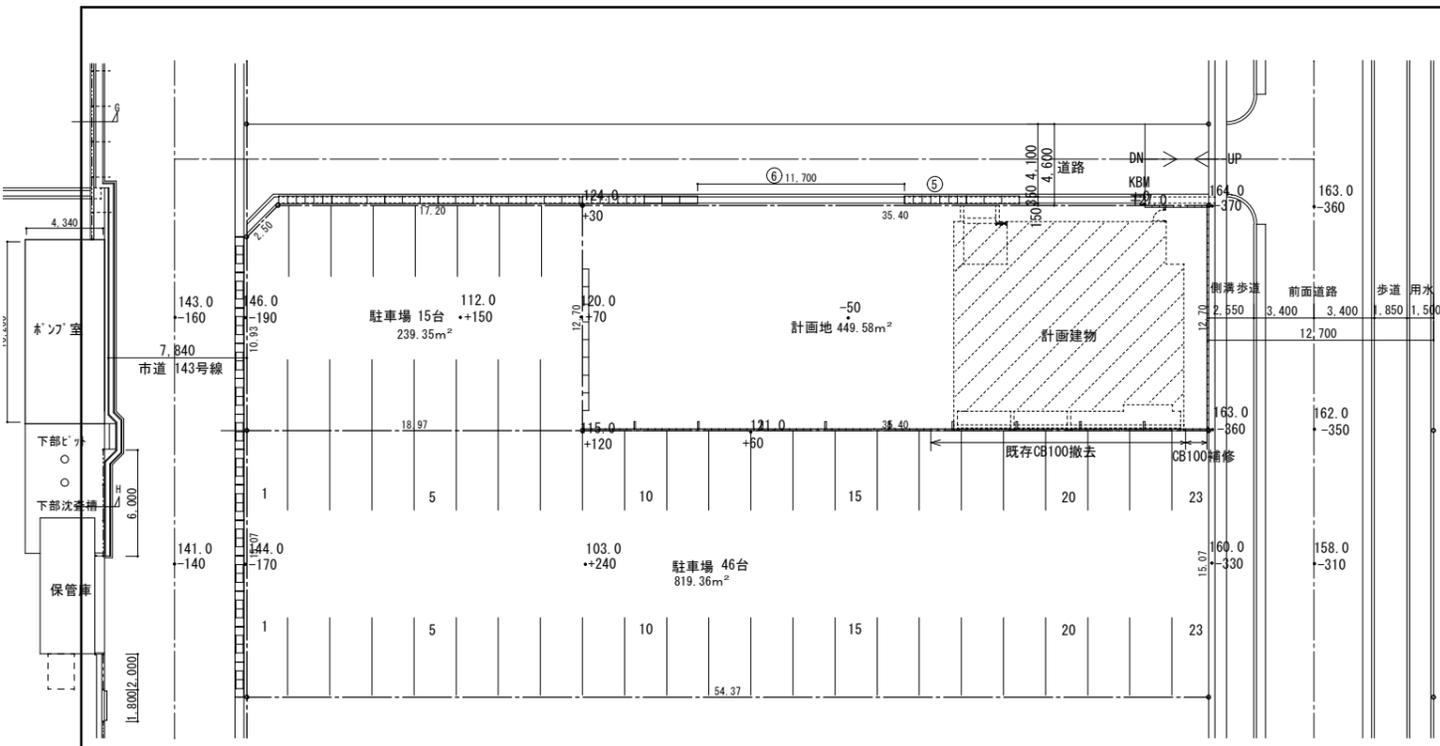
<p>A-1 防水端部金物(7&amp;3)納まり</p> <p>1/10</p>	<p>A-2 バルコニー手摺</p> <p>1/20</p>	<p>1/20 1/50</p>
<p>1. n'5' 外天端納まり</p> <p>※ A&lt;550の時は、金物(7&amp;3)納まりとし、※A&gt;550の時は、金物(7&amp;3)納まり、またはコナリ-170納まりとする。</p>		

<p>A-3 屋上点検口</p> <p>※H12建告1399号第5の3 30分耐火の屋根</p> <p>1/30</p>	<p>A-4 バルコニー</p> <p>1/20</p>	<p>A-5</p> <p>1/50</p>
--	------------------------------	------------------------

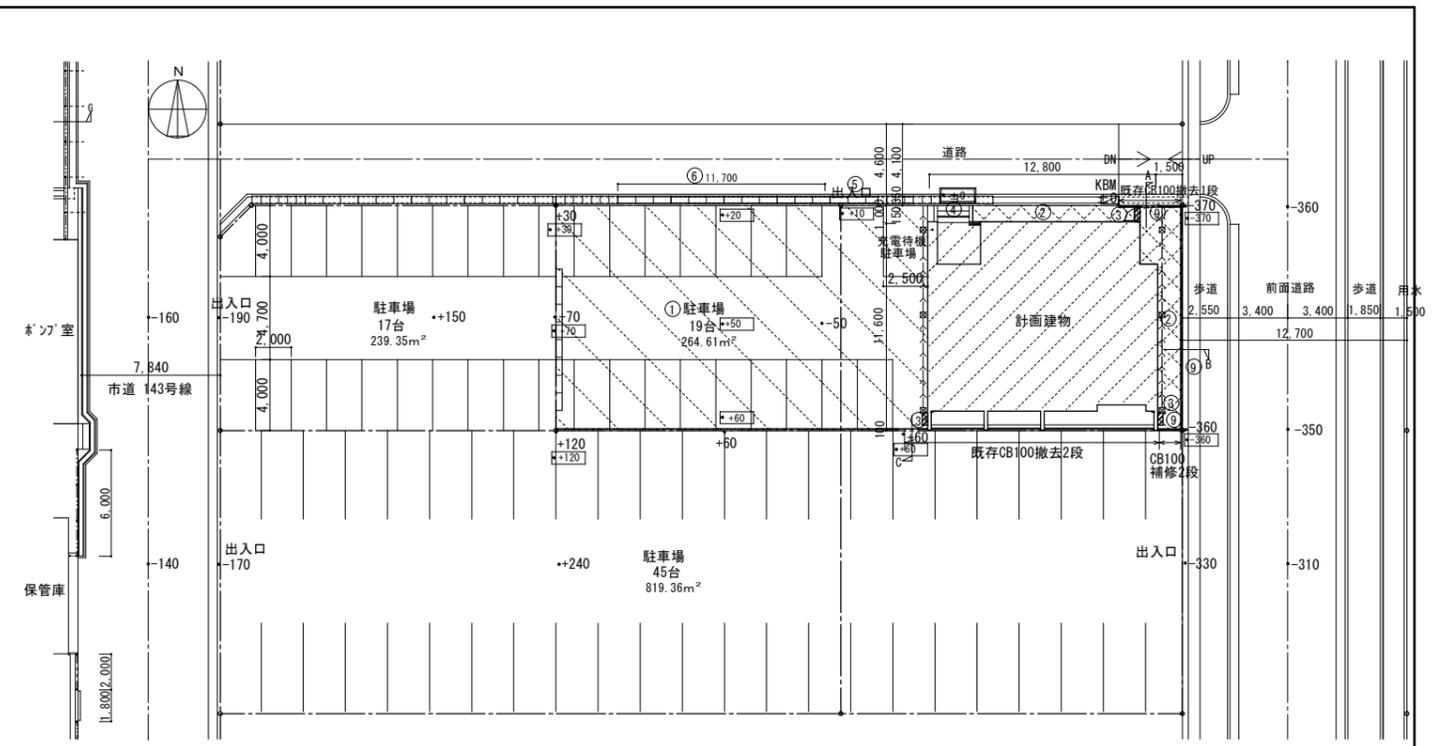
<p>B-1 外壁 窯業系サイディング16t張り 一般部</p> <p>1/10</p>	<p>B-2 外壁 窯業系サイディング16t張り 入隅、出隅部</p> <p>1/10</p>	<p>B-3 外壁 開口部廻り</p> <p>1/10</p>
--	---	---------------------------------

<p>B-4 外部巾木 二重床部</p> <p>1/10</p>	<p>B-5 外部巾木 一般部</p> <p>1/20</p>	
----------------------------------	---------------------------------	--

A 内部造作								
C-1	廊下・リビング・ダイニング・キッチン・洋室の床・壁との取合(二重床)	1/5	C-2	戸境乾式界壁	1/10 1/20	C-3	共用廊下乾式界壁	1/10 1/20
<p>・床防音木質707-仕上げの場合 ※洋室相互間及び、洋室・和室間の壁(間に収納ボックスがある場合を除く)は、PB 09.5-2重張りとする。</p> <p><b>界壁の場合</b></p> <p><b>間仕切壁の場合</b></p>		<p>●戸境：吉野石膏A2000-WI (令114:FP060NP-0198, 法30:S01-0110)</p>		<p>●共用廊下：吉野石膏S12-WI (令114:FP060NP-0290, 法30:S01-0151)</p>				
C-4	玄関 上框	1/5	C-5	洗面、脱衣室 トイレ床・壁との取合い	1/5	C-6	廊下 物入	1/30
<p>○防音木質707-仕上げの場合</p>		<p>※洗面、脱衣室において、ベニヤの継ぎ手が発生する場合は、12mmベニヤの上に4mmベニヤを増張りとする。 ※トイレ内側の間仕切壁は、PB t 9.5-2重張りとする。</p> <p><b>界壁の場合</b></p> <p><b>間仕切壁の場合</b></p>		<p><b>分電盤操作盤無</b></p> <p><b>分電盤操作盤有</b></p>				
D-1	枠付建具 -1 リビング・洋室へ廊下		D-2	枠付建具 -2 ドレッシングルーム・トイレへ廊下(片開き戸) -3 ドレッシングルームへ廊下・キッチン(片引き戸)	1:10	D-3	LSD 片引き戸(ガラス収納タイプ) 防火設備	1:10
<p>○リビング・洋室と廊下に床の差がない場合(床仕上りと敷居の段差は3mm以内)</p> <p>○リビング・洋室 床直張り707-仕上げの場合</p>		<p>W(木製建具表参照)</p> <p>トイレの場合はPB 09.5-2重貼</p> <p>※トイレ内壁はPB 09.5-2重貼納まりとなる。</p>		<p>主要な間仕切壁</p> <p>枠：t=1.68mm 鋼板 焼付塗装</p>				
D-4	トイレ	1/30	D-5	床下点検口	1/5 1/20	D-3	コンセント・スリプ 取付位置	1:10
<p>・バネ・ネジ、ネジ掛の取付け位置は下図による。 手摺芯 1,050 42</p> <p>※バネ・ネジは左側付を優先する。</p>		<p>床下点検口詳細図 1:5</p> <p>タラップ詳細図 1:20</p>		<p>コンセント・スリプ 取付位置</p> <p>(梁にクーラーが付く場合)</p> <p>(逆梁ハッチの場合)</p>				



現況配置図 S=1/200

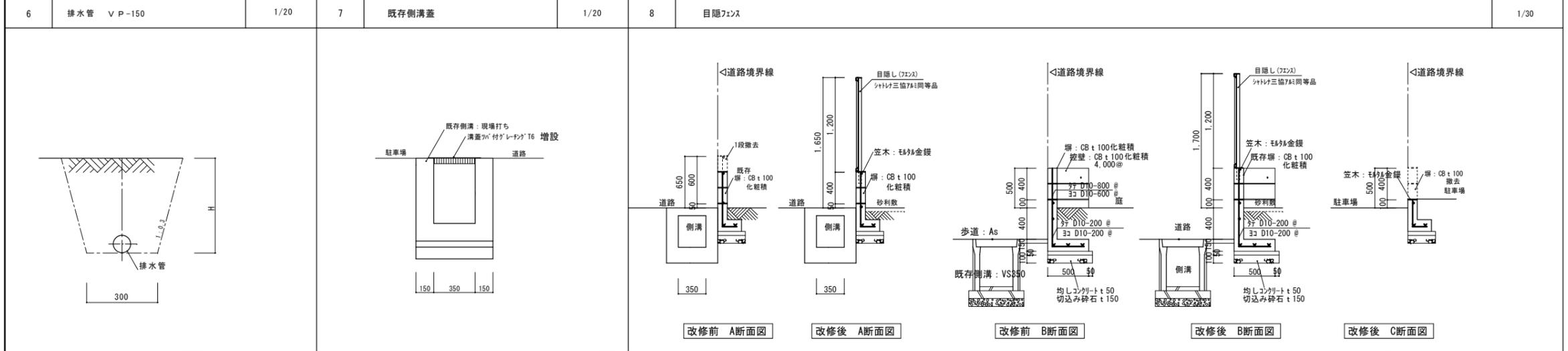


計画配置図 S=1/200

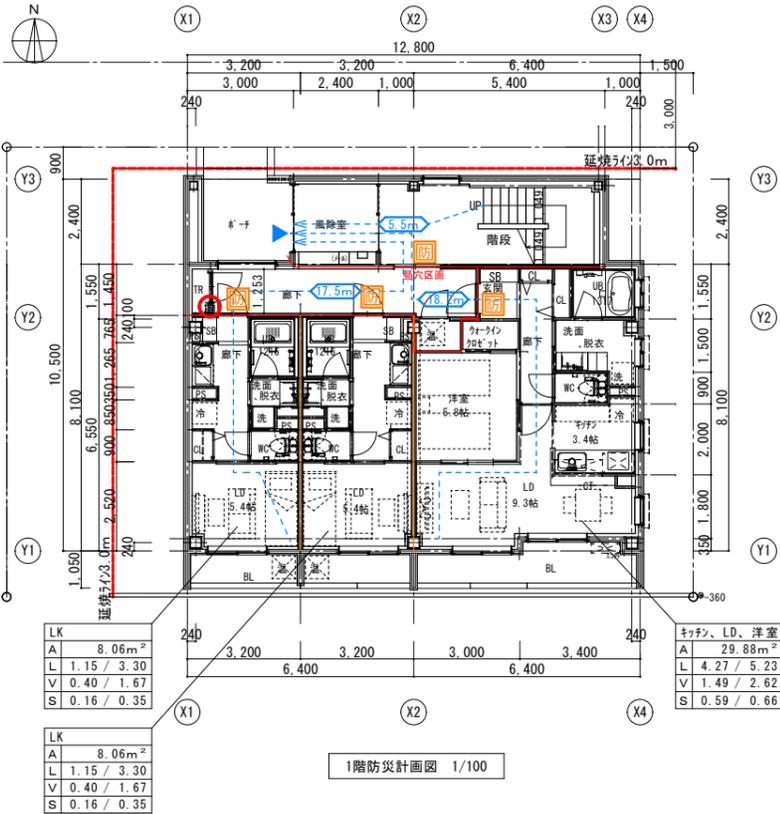
1	アスファルト舗装	1/10	2	コンクリート舗装 犬走り	1/10	3	砂利敷き	1/10	4	磁器質タイル貼	1/10	5	雨水樹 350×350	1/20	
※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。		※各部の寸法は、転圧後の寸法を示す。	

メーカー名、商品名は材料の程度を示す。  
特記なき限り コンクリート Fc210-15 鉄筋 SD295とする。

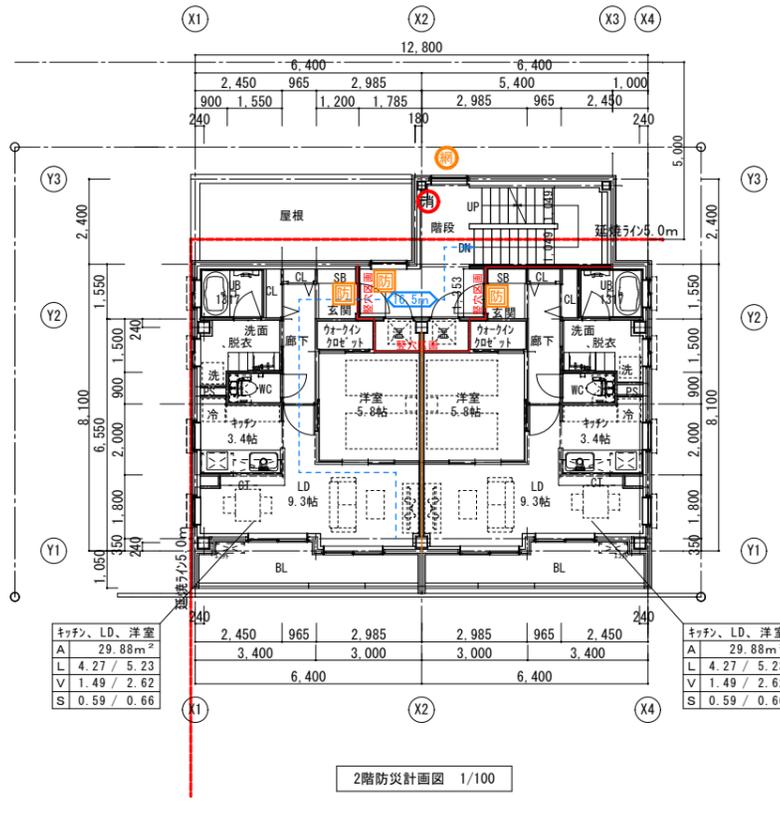
項目	内容	
1、駐車場工事	アスファルト舗装 265.0m <sup>2</sup>	
	ライン引き 黄線W150 新設 112.0m 引替え 110.0m	
2、排水清工事	排水管：φ150 VP 22.0m	
	雨水樹：二次製品 6ヶ所	
	樹蓋：グレーチング 既存現場打ち側溝 蓋：ガ付グレーチング増設 13枚	
3、出入口工事	玄関77 ローチ床 磁器質タイル 300×600 1.1m <sup>2</sup>	
	避難通路 砂利敷き t 50 除草シート敷き 28.0m <sup>2</sup>	
	犬走り t 100コンクリート 金網 ワイヤメッシュ 再生ガラスパン 0.4m <sup>2</sup>	
	駐車場出入口 既存CB t 100一部撤去 W0.8m	
4、囲障工事	目隠しフェンス H1200 シフト三協78同等品 L17.1m	
	基礎：既存CB100 天端 モルタル金網押え L17.1m	
	門扉：W800×H1400 シフト三協78同等品 1ヶ所	



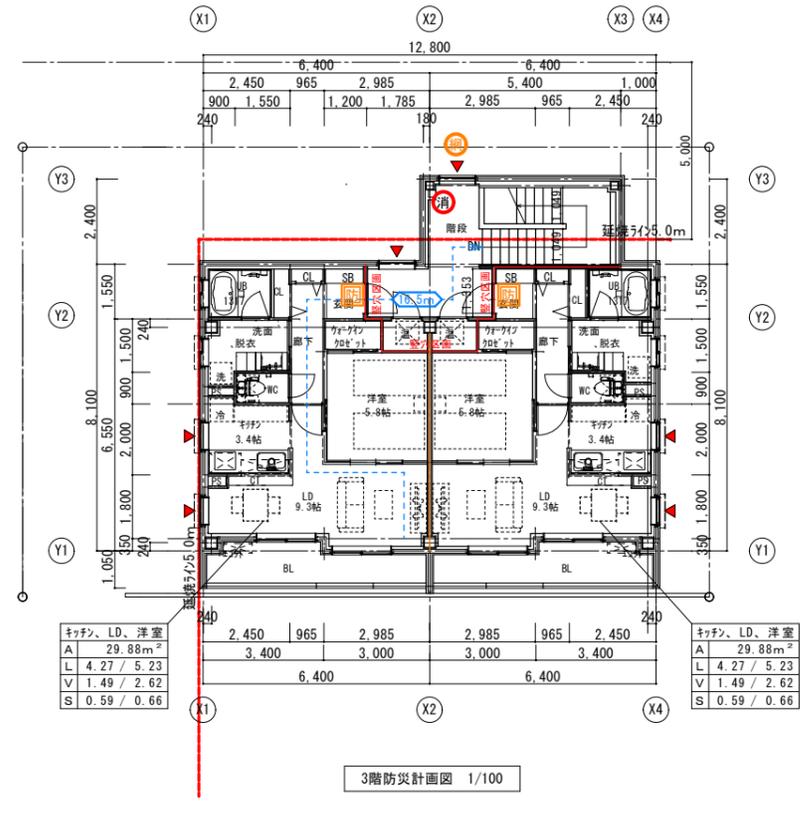
凡例	内容
①	アスファルト舗装 A-3-15 路盤再生材 駐車場ライン引き
②	砂利敷き t 100 除草シート敷き
③	コンクリート舗装 t 100 犬走り
④	磁器質タイル貼リ コンクリート t 100 下地
⑤	既存側溝 現場打ち 既存のまま コンクリート t 100 既存のまま
⑥	既存側溝 現場打ち 既存のまま 細目グレーチング 蓋 T6 増設
⑦	集水樹350角 既存のまま 既成コンクリート雨水樹 グレーチング 細目蓋 T2
⑧	雨水排水管 150φ
⑨	目隠しフェンス H1200 基礎コンクリート二次製品
±0	設計GL = KBM
50.00	仕上レベルを示す。
0.00	現状地盤高を示す



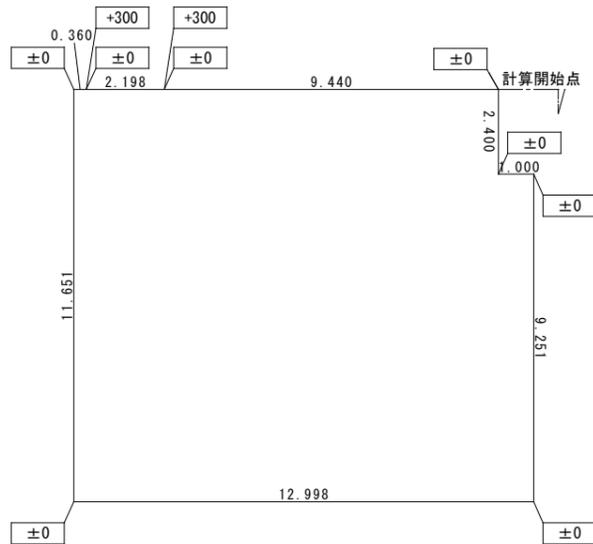
1階防災計画図 1/100



2階防災計画図 1/100



3階防災計画図 1/100



平均地盤面算定表

記号	周長 (m)	高さ (m)	周長×高さ (m <sup>2</sup> )
1	2.400	0.000	0.0000
2	1.000	0.000	0.0000
3	9.251	0.000	0.0000
4	12.998	0.000	0.0000
5	11.651	0.000	0.0000
6	0.360	0.000	0.0000
7	2.198	0.300	0.6594
8	9.440	0.000	0.0000
合計	49.2980		0.6594

0.6594 / 49.2980 = 0.0134 ≈ 0.013  
平均GL= 設計GL+0.013m

記号	種類
—	延焼のおそれのある部分
—	防火区画 (乾式耐火構造壁) 耐火構造: 遮音構造:
—	防火区画 (乾式耐火遮音間仕切壁) ・戸境: 吉野石膏 A2000・W1 耐火: FP060NP-0198、遮音: S01-0112 ・共用廊下: 吉野石膏 S12・W1 耐火: FP060NP-0175、遮音: S01-0110
—	防煙区画 (間仕切壁)
H500 (H800)	防煙区画 (垂れ壁H=500、800)
Ⓢ	法第2条第9号の2 口 に規定する防火設備
防	防火設備 (常時閉鎖式) 令112条第18項第2号 (遮煙性能付)
令1	令第126条の2第1項各号による部分 令1: 第一号、令3: 第三号、令4: 第四号
▽	主要な出入口
▽	代替出入口 (3階) (令第126条の6) 開口部寸法有効 W750×H1200以上とする
消	消火器
00.00m	避難経路 (歩行距離) : 無窓の居室30m以下、その他50m以下

- 特記事項
- 排煙
    - ・住戸の部分: 令第126条の2 1項1号により免除
  - 防火区画
    - ・防火区画に関する外壁の措置: 令第112条10・11項による構造 (水平・垂直間)
    - ・P S: 各階水平防火区画
  - 歩行距離
    - ・令第120条1項により直通階段に至る歩行距離50m
  - 避難上有効なバルコニー
    - ・避難ハッチを除き2m以上、奥行60cm以上

屋内階段	鉄骨造
有効幅員	1.049 > 900 踏面 250 > 210
蹴上	164 ≤ 220 手摺取付幅 壁面より100mm以内

- 非常用の進入口 (令第126条の6)
  - ・昭和46年12月3日住建発85号の共同住宅の特例による全住戸へ歩行距離20m以内で到達可能。
- 直通階段設置 (令121条1項6号)
  - ・階ごとの居室面積200m<sup>2</sup>以下 (耐火構造)、かつ、避難上有効なバルコニー設置の為、屋内避難階段1階段とする
- 消防法上の無窓階の判定
  - ・1階 床面積 130.81m<sup>2</sup>
  - ・床面積の1/30= 130.81/30 = 4.36m<sup>2</sup>
  - 有効開口: 5.36m<sup>2</sup>
  - ・2、3階 床面積 114.69m<sup>2</sup>
  - ・床面積の1/30= 114.69/30 = 3.82m<sup>2</sup>
  - 有効開口: 6.42m<sup>2</sup>  
(750×1200の開口2ヶ所以上)



名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
I. 建築工事	医師住宅							
1.直接仮設工事		式	1.0					
2.土工事		式	1.0					
3.地業工事		式	1.0					
4.コンクリート工事		式	1.0					
5.型枠工事		式	1.0					
6.鉄筋工事		式	1.0					
7.鉄骨工事		式	1.0					
8.防水工事		式	1.0					
9.石、タイル工事		式	1.0					
10.木工事		式	1.0					
11.金属工事		式	1.0					
12.左官工事		式	1.0					
13.金属製建具工事		式	1.0					
14.木製建具工事		式	1.0					
15.ガラス工事		式	1.0					
16.塗装工事		式	1.0					
17.内外装工事		式	1.0					
18.仕上げユニット工事		式	1.0					
19.家具工事		式	1.0					
20.雑工事		式	1.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
21.屋外付帯工事		式	1.0					
I. 建築工事の計								
1. 直接仮設工事								
遣り方		m2	131.0					
墨出工料		m2	360.0					
外部足場	くさび足場	m2	542.0					
外部足場	脚立足場	m2	44.4					
垂直養生シート	メッシュシート	m2	542.0					
水平養生ネット	親綱共	m2	360.0					
内部足場	脚立	m2	319.0					
内部足場	階段仕上げ	m2	41.5					
地足場		m2	131.0					
養生費		m2	360.0					
清掃、片付け		m2	360.0					
1. 直接仮設工事の計								
2. 土工事								
根切り	機械掘り(つぼ掘り)	m3	252.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
床付		m2	115.0					
杭間ざらい		本	9.0					
埋戻し	B種(杭発生残土)、仮置土	m3	27.0					
〃	B種(根切土)、仮置土	m3	71.8					
仮置土運搬費	4.0km以下 DID区間無、10t積、バックホウ0.8m3	m3	98.8					
残土運搬費(自由処分)	4.0km以下 DID区間無、10t積、バックホウ0.8m3	m3	180.0					
碎石地業	基礎下、再生材、材工共	m3	6.9					
〃	土間下、再生材、材工共	m3	5.2					
土間下防湿シート	ポリエチレンフィルムt=0.15、材工共	m2	49.2					
土間下断熱材	ポリスチレンフォームt=50、材工共	m2	49.2					
土工機械運搬費		式	1.0					
2. 土工事の計								
3. 地業工事								
材料費								
節付PHC杭(105N)	φ 3045、B種、L=12m	本	4.0					
〃	φ 3045、B種、L=12m	本	3.0					
節付PHC杭(85N)	φ 6075、A種、L=12m	本	1.0					
〃	φ 6075、A種、L=12m	本	1.0					
施工費	FP-BESTEX工法、または同等工法以上							

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
杭荷降し費		式	1.0					
杭施工機械運搬費		台	1.0					
杭施工機械組立解体費		台	1.0					
杭打ち施工費	ヤットコ長含む	m	120.0					
場内泥土集積費		m3	27.0					
敷鉄板損料及び枕木		式	1.0					
セメントサイロ設置費		式	1.0					
杭周固定液	φ 3045	m	94.0					
〃	φ 6075	m	27.0					
根固液	φ 3045	本	7.0					
〃	φ 6075	本	2.0					
回転金具		SET	9.0					
FTハイルキャップ	φ 300用、材工共	個	7.0					
FTハイルキャップ	φ 600用、材工共	個	2.0					
3. 地業工事の計								
4. コンクリート工事								
均しコンクリート	FC N18-15 (基礎)	m3	6.3					
躯体コンクリート	FC N21-15 (ピットスラブ)	m3	72.6					
〃	FC N21-15	m3	8.1					



名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
5.型枠工事								
普通型枠	基礎、平面	m2	276.0					
〃	地上、平面	m2	31.0					
打放型枠	基礎、平面、C種	m2	104.0					
〃	地上、平面、A種	m2	58.6					
〃	地上、平面、C種	m2	1.1					
型枠運搬費	10t車	m2	471.0					
ヒット裏断熱材打込み	ポリスチレンフォームt=50、材工共	m2	33.1					
鉄骨柱脚部絶縁材	ポリスチレンフォーム t=25、材工共	m2	2.4					
通気管スリーブ	φ 100、L=400、材工共	ヶ所	4.0					
ヒット躯体止水板	材工共	m	44.8					
5.型枠工事の計								
6.鉄筋工事								
異形鉄筋	SD295A D10	t	7.3					
〃	SD295A D13	t	6.4					
〃	SD295A D16	t	0.4					
〃	SD345 D19	t	1.5					
〃	SD345 D22	t	3.6					
鉄筋加工組立費		t	18.4					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
鉄筋運搬費	10t車	t	18.4					
スクラップ(鉄筋)	H2	t	0.5					
鉄筋ガス圧接費	D22	ヶ所	82.0					
ワイヤーマッシュ	φ 6-100x100、材工共	m2	122.0					
各種貫通孔補強筋		式	1.0					
6.鉄筋工事の計								
7. 鉄骨工事								
(1)鉄骨本体工事		式	1.0					
(2)鉄骨デッキ床工事		式	1.0					
(3)鉄骨胴縁工事		式	1.0					
(4)鉄骨階段工事		式	1.0					
(5)鉄骨付帯工事		式	1.0					
7. 鉄骨工事の計								
(1)鉄骨本体工事								
H-300x150x6.5x9	SN490B	t	0.3					
H-450x200x9x14	SS400	t	4.8					
H-440x300x11x18	SS400	t	3.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
H-350x175x7x11	SS400	t	1.6					
H-340x250x9x14	SS400	t	1.5					
H-300x150x6.5x9	SS400	t	1.4					
H-294x200x8x12	SS400	t	0.3					
H-300x150x6.5x9	SS400	t	3.7					
H-294x200x8x12	SS400	t	1.0					
H-200x100x5.5x8	SS400	t	1.0					
H-150x75x5x7	SS400	t	0.1					
□-300x300x12	BCR295	t	6.2					
□-200x200x9	BCR295	t	1.2					
□-100x100x6	STKR400	t	0.1					
PL-6	SN400B	t	0.2					
PL-9	SN400B	t	1.4					
PL-12	SN400B	t	1.3					
PL-6	SN490B	kg	14.0					
PL-9	SN490B	kg	49.0					
PL-16	SN490B	kg	37.0					
PL-16	SN490C	t	0.3					
PL-19	SN490C	t	0.2					
PL-32	SN490C	t	0.5					
HTB-M16x40	S10T	SET	33.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
HTB-M20x45	S10T	SET	407.0					
HTB-M20x50	S10T	SET	175.0					
HTB-M20x55	S10T	SET	518.0					
HTB-M20x60	S10T	SET	408.0					
HTB-M20x70	S10T	SET	965.0					
中ボルト-M16x140	SS400	SET	6.0					
A.Bolt-M16	SS400 L=320、ダブルナット締め、J型フック付	本	42.0					
鉄骨工場加工組立費		t	29.5					
鉄骨工場溶接費		t	29.5					
鉄骨工場塗装費	JIS K5674、2回塗り	t	29.5					
鉄骨運搬費	11t車	t	29.5					
鉄骨現場建方費		t	29.5					
HTB本締め費		t	29.5					
スクラップ(鉄骨)	H1	t	1.1					
(1)の計								
(2)鉄骨デッキ床工事								
合成床デッキ	QL-99x50x1.2、メッキ品(Z-12) エントクロス加工、または同等品以上	t	1.1					
合成床デッキ張り手間		m2	101.0					
フラットデッキ	SF08、または同等品以上 メッキ品(Z-12)	m2	240.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
フラットデッキ敷き費		m2	240.0					
デッキ受け費		ヶ所	166.0					
コンクリート止め費		m	138.0					
(2)の計								
(3)鉄骨胴縁工事								
鉄骨胴縁工事	C-100x50x20x2.3、プレート、ボルト類含む 材工共	m2	415.0					
(3)の計								
(4)鉄骨階段工事								
鉄骨階段工事	ササラPL-12x270、プレート、ボルト類含む 材工共	t	4.0					
(4)の計								
(5)鉄骨付帯工事								
鉄骨現場塗装費	JIS K5674、タッチアップ2回塗り	t	29.5					
露出型弾性固定柱脚	ベースハック柱脚工法30-12V 杭有、h=1.2m、溶接費含む	脚	3.0					
〃	ベースハック柱脚工法30-12V 杭有、h=1.7m、溶接費含む	脚	3.0					
〃	ベースハック柱脚工法20-09V 杭有、h=1.2m、溶接費含む	脚	2.0					
〃	ベースハック柱脚工法20-09V 杭有、h=1.7m、溶接費含む	脚	1.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
鉄骨柱脚付帯工事	ベースパック柱脚工法	脚	9.0					
頭付stattボルト	φ16、H=100、材工共	本	1,316.0					
鉄骨梁貫通孔補強費	φ100、材工共	ヶ所	3.0					
〃	φ150、材工共	ヶ所	3.0					
〃	φ200、材工共	ヶ所	1.0					
アンカーボルト取付費	M16	本	42.0					
無収縮モルタル	330x200、材工共	ヶ所	2.0					
〃	300x130、材工共	ヶ所	1.0					
〃	200x150、材工共	ヶ所	18.0					
超音波探傷検査費	第三者機関	式	1.0					
(5)の計								
8. 防水工事								
屋上								
バルコニー 塩ビシート防水	t1.5、床 機械的固定工法	m2	124.0					
バルコニー 塩ビシート防水	t1.5、立上り 機械的固定工法	m2	24.6					
断熱材	硬質ウレタンフォームt50	m2	114.0					
デスク板固定		m2	114.0					
塩ビ鋼板端部		m	51.0					
塩ビ鋼板入隅		m	51.0					



名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
9. 石、タイル工事								
石工事								
上框 御影石	W100*H150	m	8.8					
巾木 御影石	W120*t20	m	25.6					
タイル工事								
外部								
床 磁器質タイル300*600	ピエントラクオーツ程度	m2	6.9					
同上段鼻ハンスリップ	ピエントラクオーツ程度	m	3.6					
内部								
床 磁器質タイル300*600	ピエントラクオーツ程度	m2	4.5					
床 磁器質タイル300*300	ピエントラクオーツ程度	m2	10.2					
壁 磁器質タイル300*600	ピエントラクオーツ程度 ボード下地	m2	9.9					
9. 石、タイル工事の計								
10. 木工事								
巾木 樹脂巾木	化粧シート H60	m	89.0					
額縁	化粧シート W150	m	205.0					
ブラインドボックス	化粧シートW150*H100	m	32.7					
ユニバス・シャワー枠	W750*H2000	ヶ所	7.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
10. 木工事の計								
11. 金属工事								
(外部)								
笠木 直	アルミ製、W250	m	39.3					
笠木 90° コーナー	アルミ製、W250	ヶ所	7.0					
笠木 直	アルミ製、W350	m	12.5					
縦型 ルーフドレン	縦型、Φ75	ヶ所	4.0					
バルコニー ルーフドレン	縦型、Φ75	ヶ所	6.0					
縦樋	カラーVP φ75SUS掴み金物@1200共	m	17.5					
横引き樋	カラーVP φ75SUS掴み金物@1200共	m	2.0					
バルコニー手摺	アルミ手摺W4200*H1150	ヶ所	5.0					
バルコニー手摺	アルミ手摺W2250*H1150	ヶ所	2.0					
バルコニー隔て板	W800*H1900 消防認定品	ヶ所	4.0					
バルコニー避難ハッチ	SUS製、600角、床降下式	ヶ所	2.0					
バルコニー 目隠し格子	アルミ製木目調、40*60 W1100*H3100	ヶ所	2.0					
バルコニー 目隠し格子	アルミ製木目調、40*60 W1100*H2950	ヶ所	2.0					
バルコニー 目隠し格子	アルミ製木目調、40*60 W1100*H3000	ヶ所	1.0					
バルコニー 目隠し格子	アルミ製木目調、40*60 W700*H3000	ヶ所	2.0					
玄関 目隠し格子	アルミ製木目調、40*60W1000*H2000	ヶ所	1.0					



名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
外部								
床 コンクリート金鍍押え	防水下	m2	137.0					
床 タイル下地モルタル塗り	t30	m2	5.8					
バルコニー溝 樹脂モルタル塗り		m	27.1					
外部巾木 コンクリート打放補修	部分補修不陸2mm以内	m2	15.4					
バルコニー巾木 コンクリート打放補修	部分補修不陸2mm以内	m2	10.5					
バルコニー上裏 コンクリート打放補修	部分補修不陸2mm以内	m2	43.3					
外部巾木 樹脂左官材櫛目塗り		m2	1.0					
建具廻りモルタル詰め	CON立上りと建具枠の隙間	m	7.0					
鉄骨胴縁下モルタル詰め	CON立上りと胴縁下の隙間	m	50.0					
立上り天端均し	W150	m	60.5					
内部								
床 コンクリート金鍍押え	床下	m2	227.0					
床 タイル下地モルタル塗り	内部、t30	m2	7.8					
床 コンクリート金鍍押え	ピット床	m2	84.6					
ピット溝 モルタル金鍍押え	ピット床	m2	17.6					
12. 左官工事の計								
13. 金属製建具工事								
AD-1 片引き自動ドア		ヶ所	1.0					





名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
16. 塗装工事								
(外部)								
軒天 EP-G塗装	ケイ酸カルシウム板面	m2	5.8					
バルコニー上裏 薄付け塗材E	コンクリート面	m2	35.2					
バルコニー見付 複層塗材RE	コンクリート面 水系エポキシ	m2	8.1					
外部巾木 撥水材吹付	コンクリート面	m2	15.4					
(内部)								
床 防塵塗料塗り	無機質系塗床	m2	291.0					
階段巾木 SOP塗装	錆止め共	m	9.2					
階段ササラ SOP塗装	錆止め共	m	20.8					
16. 塗装工事の計								
17. 内外装工事								
(外部)								
外壁 防火サイディングA	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法 フトワール同等品	m2	400.0					
同出隅	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法	m	88.0					
外壁 防火サイディングB	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法 アコルトプレミアム同等品	m2	81.0					
同出隅	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法	m	15.0					
外壁 防火サイディングC	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法 アルニモ同等品	m2	33.6					
同出隅	t16.0、塗装板、モエンエクセラート横張り 金具止め工法	m	60.0					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
耐火野地板	t18センチリーボード同等	m2	514.0					
透湿防水シート		m2	514.0					
土台水切	耐摩カラー-SGLt0.4	m	85.6					
軒天 ケイ酸カルシウム板	t8.0、V目地	m2	21.0					
廻縁(R)	塩ビコ型	m	2.4					
床 防滑VSt2.5		m2	71.9					
防水立上り下地	t25センチリーボード	m2	31.6					
(内部)								
床 乾式二重床	H130、二重フロア下地材(硬質繊維板20)共	m2	227.0					
床 ラワン合板	t12	m2	27.9					
床 VTt3.0		m2	13.6					
床 VSt2.0		m2	71.9					
床 VSt1.8		m2	27.9					
床 複合フローリングt12	t12.0*303*1818 表層0.3程度 既製	m2	175.0					
巾木 樹脂巾木	H60	m	89.0					
壁 ビニルクロス	無機質製、不燃	m2	731.0					
壁 PBt9.5		m2	731.0					
壁 PBt12.5+PBt12.5		m2	254.0					
壁 耐水PBt9.5		m2	51.9					
天井 岩綿吸音板	t9.0+PBt9.5共	m2	4.4					
天井 ビニルクロス	無機質製、不燃	m2	266.0					



名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
19. 家具工事								
A-1 下足棚	W1200*D400 大建同等	ヶ所	5.0					
A-2 下足棚	W600*D400 大建同等	ヶ所	2.0					
A-3 吊戸棚	W900*D300 大建同等	ヶ所	7.0					
A-4 棚	W450*D300 大建同等	ヶ所	2.0					
B-1 内部収納ユニット	W840*D560 大建同等	ヶ所	2.0					
B-2 内部収納ユニット	W1690*D350、560 大建同等	ヶ所	5.0					
B-3 内部収納ユニット	W900*D400 大建同等	ヶ所	5.0					
B-4 内部収納ユニット	W800*D400 大建同等	ヶ所	5.0					
E-1 キッチンカウンター	W1800*D300 大建同等	ヶ所	5.0					
キッチン枠	MDFW100 大建同等	ヶ所	5.0					
19. 家具工事の計								
20. 雑工事								
集合郵便受け	7戸 SUS製 前入り前出し 鍵付き	ヶ所	1.0					
消火器ボックス	埋め込みタイプ	ヶ所	3.0					
現場発砲ウレタン吹付	t20	m2	34.2					
壁 グラスウール(外壁廻り)	t100、24K	m2	254.0					
壁 グラスウール(トイレ間仕切り壁)	t50、24K	m2	51.9					

名 称	品質・形状・摘要	単位	数 量	単 価	金 額	出 来 高		備 考
						数 量	金 額	
住戸室番号札	150*60アクリ板カッティングシート	ヶ所	7.0					
レース+ドレープカーテン	レース 1.5倍ひだ 防災 ドレープ 1.5倍ひだ 遮光1級 防災	m2	33.6					
カーテンレール	W SUS	m	32.7					
20. 雑工事の計								
21. 屋外付帯工事								
アスファルト舗装	A-3-15 再生材	m2	265.0					
駐車ライン引き	W150黄色線引き	m	112.0					
駐車ライン引き替え	W150黄色線引き	m2	110.0					
駐車ライン除去	W150	m2	110.0					
コンクリート舗装	再生クラッシュt100、金鍍仕上げ 犬走、CONt100、ワイヤメッシュ	m2	0.5					
コンクリート舗装	再生クラッシュt100、鍍仕上げ タイル下、CONt100、ワイヤメッシュ	m2	1.1					
磁器質タイル貼り	300*600	m2	1.1					
砂利敷き	B種t50 除草シート	m2	28.0					
雨水枡	二次製品、300*300	ヶ所	6.0					
雨水枡グレーチング	300*300、GR細目蓋板T2	ヶ所	6.0					
排水管	VP-150 材工共	m	22.0					
ツバ付グレーチング	W350細目 T6	m	13.0					
目隠しフェンス	H1200、シャトレナ3型同等品	m	17.4					
門扉	W800*H1400,レジリアハタイプ同等品	ヶ所	1.0					

